

防衛大学校達第3号

防衛大学校規則（昭和36年防衛庁訓令第81号）第14条及び第34条の規程に基づき、
防衛大学校本科学習規程を次のように定める。

平成元年4月4日

防衛大学校長 夏目晴雄

防衛大学校本科学習規程

改正	平成2年3月23日防衛大学校達第1号	平成4年3月25日防衛大学校達第2号
	平成4年4月10日防衛大学校達第8号	平成5年3月26日防衛大学校達第5号
	平成6年3月9日防衛大学校達第1号	平成7年3月31日防衛大学校達第3号
	平成8年4月1日防衛大学校達第3号	平成9年3月31日防衛大学校達第5号
	平成10年4月1日防衛大学校達第2号	平成11年4月9日防衛大学校達第2号
	平成12年3月31日防衛大学校達第5号	平成14年2月28日防衛大学校達第1号
	平成14年3月27日防衛大学校達第6号	平成15年10月3日防衛大学校達第13号
	平成16年3月30日防衛大学校達第6号	平成17年3月29日防衛大学校達第3号
	平成17年3月31日防衛大学校達第5号	平成18年3月29日防衛大学校達第1号
	平成19年3月30日防衛大学校達第9号	平成19年8月29日防衛大学校達第12号
	平成20年3月31日防衛大学校達第4号	平成21年3月31日防衛大学校達第3号
	平成22年3月30日防衛大学校達第2号	平成22年10月25日防衛大学校達第13号
	平成23年11月10日防衛大学校達第19号	平成24年3月30日防衛大学校達第4号
	平成25年3月29日防衛大学校達第6号	平成26年3月6日防衛大学校達第2号
	平成27年2月2日防衛大学校達第1号	平成27年8月26日防衛大学校達第13号
	平成28年3月31日防衛大学校達第5号	平成29年3月30日防衛大学校達第5号
	平成31年3月27日防衛大学校達第4号	令和元年7月31日防衛大学校達第4号
	令和2年12月23日防衛大学校達第24号	令和3年3月29日防衛大学校達第6号
	令和3年11月8日防衛大学校達第14号	令和4年8月24日防衛大学校達第21号
	令和5年2月3日防衛大学校達第1号	

(趣旨)

第1条 この達は、防衛大学校における本科学生（以下「学生」という。）の学習に関し、必要な事項を定めるものとする。

(授業)

第2条 授業時間表は、学年度の始まる前に定める。ただし、防衛大学校長（以下「学校長」という。）は、臨時に変更することができる。

2 授業を欠いたため、学業に影響があると認められるときは、所定の授業時間表以外の授業を行うことができる。

(学期)

第3条 学年度は、前学期及び後学期の2学期とする。

(授業時限)

第4条 授業時限は、45分単位とし、授業時限区分表（別表第1）のとおりとする。

(班の編成)

第5条 教育課程及び訓練課程を履修させるための学級として、各学年にそれぞれ教務班及び訓練班を編成する。

2 前項に定めるもののほか、教育課程においては、選択科目班を編成する。

(授業科目及び単位数)

第6条 教育課程の授業科目は、教養教育、外国語、体育、専門教育及び防衛学に関する科目に区分する。

2 前項の授業科目及びその単位数は、別表第2-1及び別表第2-2のとおりとする。

(単位の計算方法及び授業期間)

第7条 前条の各授業科目の単位数は、1単位の履修時間を教室内及び教室外を合わせて45時間とし、次の各号に定める基準により計算するものとする。

(1) 講義については、教室内における1時間の講義に対して教室外における2時間の準備のための学修を必要とするものとし、15時間の講義をもって1単位とする。

(2) 演習については、教室内における2時間の演習に対して教室外における1時間の準備のための学修を必要とするものとし、30時間の演習をもって1単位とする。

(3) 実験、実習、製図及び体育実技等の授業については、学修は、実験室、実習場等で行われるものとし、45時間の実験又は実習をもって1単位とする。

2 各授業科目の授業は、15週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上、特別の必要があると認められる場合は、この限りではない。

(学習申告)

第8条 学生は、各学年始めの所定の期日までに、当該学年における教育課程学習申告書を教務部長に提出又は学務システムに入力し、承認を受けなければならない。

- 2 学生が当該学年に申告できる履修科目の単位数の上限は45単位とする。ただし、第4学年については、上限を設けない。
- 3 前項に規定される履修科目の単位数の上限は、防衛大学校規則（昭和36年防衛庁訓令第81号。以下「規則」という。）第15条の規定により定める学年別履修区分以外の学年で履修する科目（以下「再履修科目」という。）を除く。
- 4 第2項の規定にかかわらず前年度の成績が優秀と教務部長が認める者については、上限の単位数を超えて当該学年における履修科目を申告できるものとする。
- 5 学生は、選択必修及び選択科目について、申告期日後に履修科目の追加又は取り消しをする必要が生じた場合には、履修科目の変更届（別紙様式）を速やかに担当教官の指導を受けて教務部長に提出し、承認を受けなければならない。
- 6 学校長は、教育訓練上必要と認めるときは、外国の士官学校等に課程の実施を委託した学生について、規則第15条の規定により定める学年別履修区分にかかわらず、教育課程の科目を履修させることができる。

(成績評定及び単位の修得)

第9条 学生の成績評定は、次条に規定する評定者が、規則第14条の規定に定められている教育課程及び訓練課程の全科目並びに学生としての服務について、次の各号の定めるところにより行うものとする。

- (1) 教育課程にあつては各科目ごとに、訓練課程にあつては全科目を総合して行う。
 - (2) 前号の成績の評定は、日常の修学状況及び第11条の規定に定める試験の結果に基づいて、総合考査して行う。
 - (3) 評定の結果は、上位からそれぞれ秀、優、良、可及び不可の5種類の評語で表す。
 - (4) 前号において、成績が可以上の学生は、教育課程にあつては単位を、訓練課程にあつては科目を修得したものとし、成績が不可の学生には、単位及び科目の修得は認めないものとする。
 - (5) 学生としての服務の評定は別に定める。
- 2 学校長は、教育訓練上必要と認めるときは、外国の士官学校等に課程の実施を委託した学生が修得した教育課程の単位及び訓練課程の科目について、前項の規定にかかわらず、60単位を超えない範囲で、大学校における教育課程及び訓練課程の科目を修得したものとみなすことができる。
 - 3 前2項の規定にかかわらず、学校長が定める試験において不正行為を行った学生の単位及び科目の取扱いは、別に学校長が定めるものとする。

(評定者)

第10条 評定者は、教育課程にあつては各科目の担当教官あるいは同一各科目の担当教官、訓練課程にあつては訓練部長の指名する教官、学生としての服務にあつては次席指導教官及び指導教官とする。

2 各科目ごとの評定については、評定すべき教官が2名以上いる場合は、互いに協議して評定する。

(試験)

第11条 試験の種類は、次の各号の掲げるとおりとする。

(1) 定期試験

(2) 追試験

(3) 再試験

2 定期試験は、各学期末に教務部長の定めるところによる。

3 追試験は、次の各号の定めるところにより行う。

(1) 学生が、疾病その他やむを得ない事由により定期試験を受けることができなかつた場合に行う。

(2) 前号の追試験の実施時期は、教務部長の定めるところによる。

4 再試験は、教務部長が必要と認める科目について、次の各号の定めるところにより行う。

(1) 評定者は、前期に終了する教育課程の成績が不可と評定された科目を有する学生に対し、当該科目の再試験を行うことができる。

(2) 評定者は、進級が認められた学生のうち、教育課程の成績が不可と評定された科目を有するものに対し、当該科目の再試験を行うことができる。

(3) 前2号に規定するもののほか、評定者は、原則として学生の卒業又は進級にかかわる教育課程の成績が不可と評価された科目を有するものに対し、当該科目の開講時期と同一の年度内に再試験を行うことができる。

(4) 第1号の再試験は冬季休暇終了直後に、第2号の再試験は夏季休暇終了直後に、前号の再試験は後期定期試験終了直後に、それぞれ1回行う。ただし、前号による再試験を行った科目については、第2号による再試験を行わないものとする。

(出席時間)

第12条 学生の教育課程の出席時間が、各科目ごとに定められた総時間数の3分の2に達しない場合は、当該科目の成績は評定しないものとする。

2 学生の訓練課程の出席時間が、1年を通じて定められた訓練時間数の3分の2に達しない場合は、その成績は評定しないものとする。

(成績の入力及び通知)

第13条 各評定者は、各学年の成績を所定の用紙に記入し、教育課程にあつては定期試験終了後定められた期間内に、訓練課程にあつては学年末に、学生としての服務にあつては定められた期間内に、学務システムに入力するものとする。

- 2 教務部長は、学生の各学期及び各学年における成績表を訓練部長に送付するものとする。
- 3 訓練部長は、学生に前項の成績を通知するものとする。ただし、学生としての服務の成績は、訓練部長が教育上の観点から通知することが適当と認めた場合を除き通知しない。

(修業期間の延長)

第14条 学校長は、学生が次の各号の一に該当する場合は、当該学年における修業期間を延長するものとする。

- (1) 第1学年から第3学年の各学年終了時、別表第3の進級に必要な単位を修得できなかった場合

ただし、外国の士官学校等に課程の実施を委託した学生については、この規定にかかわらず、学校長が別に定めるところによる。

- (2) 第4学年終了時、別表第3の卒業に必要な単位を修得できなかった場合
- (3) 当該学年で履修すべきものと定められている訓練課程の成績が不可の場合
- (4) 当該学年時の服務が良好でない場合

- 2 追試験の結果が判明しなければ進級の決定ができない学生は、当該期間原学年にとどめておくものとする。

- 3 第1項の規定に基づき修業期間を延長した学生（第9条第3項の適用を受ける者を除く。）の当該学年に履修した単位等（修得した再履修科目及び特に学校長が認めた場合を除く。）は、無効とする。ただし、教育課程の科目のうち、体育実技及び卒業研究を除き、成績が秀及び優と評定された科目の単位については、有効とする。

(進級会議)

第15条 学生の進級又は卒業の資格並びに修業期間の延長の適否の確認をするため、後期定期試験終了後に進級会議を開催するものとする。

- 2 進級会議は、学校長、副校長、総務部長、教務部長、訓練部長、先端学術推進機構長、総合情報図書館長及び各学群長をもって構成し、学校長がその議長となる。
- 3 進級会議の庶務は、教務課において行う。
- 4 進級会議の下に、教育課程進級委員会、訓練課程進級委員会及び服務進級委員会を置き、進級会議が行う確認に必要な認定を行う。
- 5 各委員会の委員長は、前項の認定結果について進級会議に通知するものとする。
- 6 進級会議は議長が必要と認めた場合、第1項の規定にかかわらず、開催できるも

のとする。

(教育課程進級委員会)

第15条の2 教育課程の成績による学生の進級又は卒業の資格並びに修業期間の延長の適否の認定をするため、後期定期試験終了後に教育課程進級委員会を開催するものとする。

2 教育課程進級委員会は、副校長(教官)、教務部長、先端学術推進機構長、各学群長、各教育室長、各学科長、教務課長、教養教育センター長及び国際交流センター長をもって構成し、副校長(教官)がその委員長となる。

3 教育課程進級委員会の庶務は、教務課において行う。

(訓練課程進級委員会)

第15条の3 訓練課程の成績による学生の進級又は卒業の資格並びに修業期間の延長の適否の認定をするため、後期定期試験終了後に訓練課程進級委員会を開催するものとする。

2 訓練課程進級委員会は、副校長(自衛官)、訓練部長、訓練課長及び各大隊首席指導教官をもって構成し、副校長(自衛官)がその委員長となる。

3 訓練課程進級委員会の庶務は、訓練課において行う。

(服務進級委員会)

第15条の4 服務の成績による学生の進級又は卒業の資格並びに修業期間の延長の適否の認定をするため、後期定期試験終了後に服務進級委員会を開催するものとする。

2 服務進級委員会は、副校長(自衛官)、訓練部長、学生課長、訓育室長、総括首席指導教官及び各大隊首席指導教官をもって構成し、副校長(自衛官)がその議長となる。

3 服務進級委員会の庶務は、学生課において行う。

4 服務進級委員会は議長が必要と認めた場合、臨時に開催できるものとする。

(欠課)

第16条 学生が、欠課をした場合には、教務部長の定めるところにより欠課届を提出する。ただし、病気休暇及び特別休暇の場合には、この手続きを要しない。

2 学生が、次の各号に掲げる事由により欠課した場合は、欠課時数に算入しない。

(1) 防衛大学校学生及び防衛医科大学校学生の勤務時間及び休暇に関する訓令(昭和30年防衛庁訓令第2号)第6条第1項及び第2項に規定する特別休暇の場合

(2) その他やむを得ない事由により学校長がこれを認めた場合

(留学生の進級又は卒業の資格並びに修業期間の延長の適否)

第17条 防衛大学校における自衛隊法(昭和29年法律第165号)第100条の2第1項の規定により教育訓練を受ける防衛大学校本科外国人留学生(以下「留学生」という。)の進級又は卒業の資格並びに修業期間の延長の適否については、次条から第20条までの規定を適用する。

(留学生の進級の特例)

第18条 第14条第1項第1号及び第3号、同条第2項及び同条第3項の規定は、留学生を委託または推薦した当該外国政府から申請があった場合を除き、留学生には適用しないことができる。ただし、第9条第3項の適用を受ける者は、この限りでない。

(留学生の卒業の特例)

第19条 第14条第1項第2号については、別表第2-1に示す防衛学を除く授業科目のうち、留学生が独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が認定した防衛大学の卒業基準128単位(教務部長が定める専門科目を含む。)を修得している場合は、留学生を委託または推薦した当該外国政府から申請があった場合を除き、これを適用しないことができる。ただし、第9条第3項の適用を受ける場合は、この限りでない。

(進級会議により進級又は卒業の資格並びに修業期間の延長が認められなかった留学生の扱い)

第20条 進級会議により進級又は卒業の資格並びに修業期間の延長が認められなかった留学生については、自衛隊法施行令(昭和29年政令第179号)第126条の10により、同施行令に規定する教育訓練の受託者とその取り消しについて協議するものとする。当該協議により、教育訓練の受託が取り消されることとなった留学生には、別に定めるところにより在籍期間証明書を発行することができる。

(委任規定)

第21条 この達の実施に関し必要な細部事項は、教育課程に係るもの(教育プログラムに係るものを除く。)にあつては教務部長が、教育課程のうち、教育プログラムに係るものにあつては先端学術推進機構長が、訓練課程及び学生としての服務に係るものにあつては訓練部長が、それぞれ定めるものとする。

附 則

- 1 この達は、平成元年4月4日から施行する。ただし、第8条の規定は、第36期以前の学生には適用しない。
- 2 次の各号に掲げる達は、廃止する。
 - (1) 授業、試験及び表簿等に関する達(昭和28年保安大学校達第7号)
 - (2) 成績評定、進級及び卒業等に関する達(昭和35年防衛大学校達第1号)
 - (3) 本科教育課程の選択科目及び当該科目の履修に関する達(昭和51年防衛大学校達第1号)
- 3 第5条第2項の規定の第36期以前の学生への適用については、なお廃止前の授業、試験及び表簿等に関する達の定めるところによる。
- 4 第6条第2項の第36期以前の学生への適用については、なお廃止前の成績評定、進級及び卒業等に関する達並びに廃止前の本科教育課程の選択科目及び当該科目の履修に関する達の定めるところによる。
- 5 第9条第3号及び第4号の規定、第11条第3項第2号並びに第4項第1号及び第2号の規定、第12条の規定、第14条第1項第1号から第3号及び第3項の規定

及び第 15 条第 1 項の規定の第 36 期以前の学生への適用については、なお廃止前の成績評定、進級及び卒業等に関する達の定めるところによる。

- 6 第 11 条第 4 項第 3 号の規定の第 36 期以前の学生への適用については、同条に定めるもののほか、評定者が、特に必要と認めた場合に行うことができる。
- 7 第 14 条の規定の第 36 期以前の学生への適用に関しての進級会議における進級の取り扱いについては、なお従前の例による。
- 8 防衛大学校における専決及び代決に関する達（昭和 46 年防衛大学校達第 8 号）の一部を次のとおりに改正する。
〔次のとおり略〕
- 9 平成 22 年度において、第 11 条第 4 項第 1 号の規定により再試験を行う場合には、同項第 3 号の規定にかかわらず、冬季休暇前の別に学校長が定める時期に実施することができる。
- 10 平成 23 年度において、第 11 条第 4 項第 1 号の規定により再試験を行う場合には、同項第 3 号の規定にかかわらず、冬季休暇前の別に学校長が定める時期に実施することができる。

附 則（平成 2 年 3 月 23 日防衛大学校達第 1 号）

この達は、平成 2 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 4 年 3 月 25 日防衛大学校達第 2 号）

この達は、平成 4 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 4 年 4 月 10 日防衛大学校達第 8 号）

この達は、平成 4 年 4 月 10 日から施行する。

附 則（平成 5 年 3 月 26 日防衛大学校達第 5 号）

- 1 この達は、平成 5 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 5 年 4 月 1 日現在、在学中の者が平成 4 年度以前に履修した必修科目については、改正後の別紙第 3 の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成 6 年 3 月 9 日防衛大学校達第 1 号）

この達は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 7 年 3 月 31 日防衛大学校達第 3 号）

この達は、平成 7 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 8 年 4 月 1 日防衛大学校達第 3 号）

- 1 この達は、平成 8 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 43 期以前の本科学学生（修業期間の延長により、第 44 期学生と同一学年となっ

た者を除く。)の修学については、この達の施行後も、なお従前の例による。

附 則 (平成9年3月31日防衛大学校達第5号)

- 1 この達は、平成9年4月1日から施行する。
- 2 第43期以前の本科学生(修業期間の延長により、第44期学生と同一学年となった者を除く。)の修学については、この達の施行後も、なお従前の例による。

附 則 (平成10年4月1日防衛大学校達第2号)

- 1 この達は、平成10年4月10日から施行する。
- 2 第43期以前の本科学生(修業期間の延長により、第44期学生と同一学年となった者を除く。)の修学については、この達の施行後も、なお従前の例による。

附 則 (平成11年4月9日防衛大学校達第2号)

この達は、平成11年4月9日から施行する。

附 則 (平成12年3月31日防衛大学校達第5号)

- 1 この達は、平成12年4月1日から施行する。
- 2 第6条、第8条及び第14条の規定の第47期以前の本科学生(修業期間の延長により、第48期学生と同一学年となった者を除く。)への適用については、この達の施行後も、なお従前の例による。

附 則 (平成14年2月28日防衛大学校達第1号)

この達は、平成14年3月1日から施行する。

附 則 (平成14年3月27日防衛大学校達第6号)

- 1 この達は、平成14年4月1日から施行する。
- 2 第47期以前の学生(修業期間の延長により、第48期学生と同一学年となった者を除く。)への適用については、この達の施行後も、なお従前の例による。
- 3 別表第2の改正規定中、専門基礎理工学専門理工学の項中の授業科目選択の欄の第48期及び第49期学生への適用については、この達の施行後も、なお従前の例による。

附 則 (平成15年10月3日防衛大学校達第13号)

この達は、平成15年10月9日から施行する。

附 則 (平成16年3月30日防衛大学校達第6号)

この達は、平成16年4月1日から施行する。

附 則 (平成17年3月29日防衛大学校達第3号)

- 1 この達は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 平成16年度以前に採用した本科学生(修業期間の延長により、平成17年度以降

に採用した本科学士と同一学年となった者を除く。)の修学については、なお従前の例による。

附 則 (平成 17 年 3 月 31 日防衛大学校達第 5 号)

この達は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 18 年 3 月 29 日防衛大学校達第 1 号)

この達は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 19 年 3 月 30 日防衛大学校達第 9 号)

- 1 この達は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 16 年度以前に採用した本科学士 (修業期間の延長により、平成 17 年度以降に採用した本科学士と同一学年となった者を除く。)の修学については、なお従前の例による。

附 則 (平成 19 年 8 月 29 日防衛大学校達第 12 号)

- 1 この達は、平成 19 年 9 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 20 年 3 月 31 日防衛大学校達第 4 号)

- 1 この達は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 別表第 2 の改正中、理工学専門応用物理学科理工学選択必修及び選択については、平成 19 年度以前に採用した本科学士 (修業期間の延長により、平成 20 年度以降に採用した本科学士と同一学年となった者を除く。)の修学については、なお従前の例による。
- 3 別表第 3 の (理工学専攻) 注意オ中の建設環境工学科については、平成 18 年度以前に採用した本科学士 (修業期間の延長により、平成 19 年度以降に採用した本科学士と同一学年となった者を除く。)の修業については、なお従前の例による。

附 則 (平成 21 年 3 月 31 日防衛大学校達第 3 号)

- 1 この達は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 別表第 2 - 1 については、平成 21 年度以降に採用する本科学士 (修業期間の延長により、平成 21 年度以降に採用した本科学士と同一学年となった者を含む。)に適用する。
- 3 別表第 2 - 2 については、平成 21 年度以前に採用した本科学士 (修業期間の延長により、平成 21 年度以降に採用した本科学士と同一学年となった者を除く。)に適用する。
- 4 別表第 3 については、平成 21 年度以前に採用した本科学士 (修業期間の延長により、平成 21 年度以降に採用した本科学士と同一学年となった者を除く。)の修

学は、この達の施行後も、なお従前の例による。

附 則（平成 22 年 3 月 30 日防衛大学校達第 2 号）

- 1 この達は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 本規程（別表以外）の改正は、平成 21 年度以前に採用した本科学士（修業期間の延長により、平成 22 年度以降に採用した本科学士と同一学年になったものを除く。）の修学については、この達施行後も、なお従前の例による。

附 則（平成 22 年 10 月 25 日防衛大学校達第 13 号）

この達は、平成 22 年 10 月 25 日から施行する。

附 則（平成 23 年 11 月 10 日防衛大学校達第 19 号）

この達は、平成 23 年 11 月 10 日から施行する。

附 則（平成 24 年 3 月 30 日防衛大学校達第 4 号）

- 1 この達は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 別表第 2－1 については、平成 24 年度以降に採用する本科学士（修業期間の延長により、平成 24 年度以降に採用した本科学士と同一学年となった者を含む。）に適用する。
- 3 別表第 2－2 については、平成 24 年度以前に採用した本科学士（修業期間の延長により、平成 24 年度以降に採用した本科学士と同一学年となった者を除く。）に適用する。
- 4 別表第 3 については、平成 24 年度以前に採用した本科学士（修業期間の延長により、平成 24 年度以降に採用した本科学士と同一学年となった者を除く。）の修学は、この達の施行後も、なお従前の例による。

附 則（平成 25 年 3 月 29 日防衛大学校達第 6 号）

この達は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 26 年 3 月 6 日防衛大学校達第 2 号）

この達は、平成 26 年 3 月 6 日から施行する。

附 則（平成 27 年 2 月 2 日防衛大学校達第 1 号）

この達は、平成 27 年 2 月 2 日から施行する。

附 則（平成 27 年 8 月 26 日防衛大学校達第 13 号）

- 1 この達は、平成 27 年 8 月 26 日から施行する。
- 2 別表第 2－1 については、平成 24 年度以降に採用した本科学士（修業期間の延長により、平成 24 年度以降に採用した本科学士と同一学年となった者を含む。）に適用する。

- 3 別表第3については、平成24年度以前に採用した本科学士（修業期間の延長により、平成24年度以降に採用した本科学士と同一学年となった者を除く。）の修

学は、この達の施行後も、なお従前の例による。

附 則（平成28年3月31日防衛大学校達第5号）

- 1 この達は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 別表第2-1については、平成28年度以降に採用した本科学士（修業期間の延長により、平成28年度以降に採用した本科学士と同一学年となった者を含む。）に適用する。
- 3 別表第2-2については、平成24年度以降に採用した本科学士（修業期間の延長により、平成24年度以降に採用した本科学士と同一学年となった者を含む。）に適用する。

附 則（平成29年3月30日防衛大学校達第5号）

- 1 この達は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成29年度以前に採用した本科学士（修業期間の延長により、平成29年度以降に採用した本科学士と同一学年となった者を除く。）の修学については、なお従前の例による。

附 則（平成31年3月27日防衛大学校達第4号）

- 1 この達は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 別表第2-1については、平成30年度以降に採用した本科学士（修業期間の延長により、平成30年度以降に採用した本科学士と同一学年となった者を含む。）に適用する。
- 3 別表第2-2については、平成29年度以前に採用した本科学士（修業期間の延長により、平成30年度以降に採用した本科学士と同一学年となった者を除く。）に適用する。ただし、修業期間を延長した者に対する必修及び選択必修の欄の適用については、教務部長が別に定める。

附 則（令和元年7月31日防衛大学校達第4号）

この達は、令和元年8月1日から施行する。

附 則（令和2年12月23日防衛大学校達24号）

この達は、令和3年1月1日から施行する。

附 則（令和3年3月29日防衛大学校達第6号）

- 1 この達は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 別表第2-1については、令和3年度以降に採用した本科学士（修業期間の延長により、令和3年度以降に採用した本科学士と同一学年となった者を含む。）に適用する。

用する。

3 別表第2-2については、令和2年度以前に採用した本科学学生(修業期間の延長により、令和2年度以降に採用した本科学学生と同一学年となった者を徐く。)に適用する。ただし、修業期間を延長した者に対する必修及び選択必修の欄の適用については、教務部長が別に定める。

4 別表第3について、令和2年度以前に採用した本科学学生(修業期間の延長により、令和2年度以降に採用した本科学学生と同一学年となった者を除く。)の修学は、この達施行後も、なお従前の例による。

附 則 (令和3年11月8日防衛大学校達第14号)

1 この達は、令和4年4月1日から施行する。

2 防衛大学校本科外国人留学生の進級及び卒業等の特例に関する達(平成27年防衛大学校達第7号)は、廃止する。

附 則 (令和4年8月24日防衛大学校達第21号)

1 この達は、令和4年9月1日から施行する。

2 令和3年度以前に採用した本科学学生(修業期間の延長により、令和4年度以降に採用した本科学学生と同一学年となった者を除く。)の修学については、なお従前の例による。

附 則 (令和5年2月3日防衛大学校達1号)

この達は、令和5年2月3日から施行する。

別表第 1 (第 4 条関係)

授 業 時 限 区 分 表

時限	1	2	3	4	5	6	7	8	9
時間	0830	0915	1010	1055	1315	1400	1455	1540	1630
	0915	1000	1055	1140	1400	1445	1540	1625	1715

別表第2-1(第6条関係)

本科教育課程の科目及び単位

部 門	区分	専 攻 又 は 要 員	授 業 科 目			履修 単位 数
			必 修	選択必修	選 択	
教養教育		人文・社会科学	基礎ゼミナール(1)、数学A(2)、数学B(2)、物理学(概論)(2)、化学序論(2)、自然科学実験(2)、近現代史(2)	地球と海洋(2)、先端エレクトロニクス入門(2)、コンピュータリテラシー(2)、メカライフ(機械と社会)(2)、飛行機とロケット(2)、土木地理学(2)	グローバルコミュニケーションⅢ(1)、地理学研究(2)、欧米史研究(2)、日本・アジア史研究(2)、実験心理学(2)、カウンセリング(2)、哲学研究(2)、近代文学史(2)、日本文学評論(2)、漢文学(2)、組織経営とリーダーシップ(2)、領域国際法(2)、現代社会と法(2)、戦争と国際法(2)、安全科学総論(安全科学とリスクマネジメント)(2)、太平洋戦争への道(2)、現代数学の思想(2)、スポーツのコーチング(2)、武道史と武道論考(2)、スポーツ技術論(2)、図形科学(2)、振動と震動の世界(2)、航空宇宙セキュリティ論(2)、火薬概論(2)、分子生物学とバイオテクノロジー(2)、地球惑星科学概論(2)、放射線の科学(2)、日本語研究Ⅰ(2)、日本語研究Ⅱ(2)、グローバルコミュニケーション入門(1)、グローバルコミュニケーションⅠ基礎(1)、グローバルコミュニケーションⅠ応用(1)、グローバルコミュニケーションⅡ基礎(1)、グローバルコミュニケーションⅡ応用(1)、地域研究(2)、艦艇工学概論(2)、特別講義(1～2)、及び先端学術推進機構長が定めるプログラム科目	24
		理工学	基礎ゼミナール(1)憲法(2)、国際法(2)、近現代史(2)	心理学(2)、思想と文化(2)、言語と文化(2)、政治学(2)、経済学(2)、法学(2)、アジア史(2)、欧米史(2)、地理学(2)	グローバルコミュニケーションⅢ(1)、地理学研究(2)、欧米史研究(2)、日本・アジア史研究(2)、実験心理学(2)、カウンセリング(2)、哲学研究(2)、近代文学史(2)、日本文学評論(2)、漢文学(2)、組織経営とリーダーシップ(2)、領域国際法(2)、現代社会と法(2)、戦争と国際法(2)、安全科学総論(安全科学とリスクマネジメント)(2)、太平洋戦争への道(2)、現代数学の思想(2)、スポーツのコーチング(2)、武道史と武道論考(2)、スポーツ技術論(2)、図形科学(2)、振動と震動の世界(2)、航空宇宙工学概論(2)、航空宇宙セキュリティ論(2)、火薬概論(2)、分子生物学とバイオテクノロジー(2)、光・電波と人間(2)、地球惑星科学概論(2)、土木工学概論(2)、放射線の科学(2)、日本語研究Ⅰ(2)、日本語研究Ⅱ(2)、グローバルコミュニケーション入門(1)、グローバルコミュニケーションⅠ基礎(1)、グローバルコミュニケーションⅠ応用(1)、グローバルコミュニケーションⅡ基礎(1)、グローバルコミュニケーションⅡ応用(1)、地域研究(2)、国際関係論概説(2)、艦艇工学概論(2)、特別講義(1～2)及び先端学術推進機構長が定めるプログラム科目	24
外国語		共通	大学英語基礎(2)、大学	日本語(2)、ドイツ語初級(2)	英語演習(2)、時事英語(2)、スピー	14

			英語読解(2)、英語表現法 I (2)、英語表現法 II (2)、英語特講 I (2)、英語特講 II (2)	フランス語初級(2)、ロシア語初級(2)、中国語初級(2)、朝鮮語初級(2)、アラビア語初級(2)、ポルトガル語初級(2)	一チ&ディベート(2)、ドイツ語中級 I (1)、ドイツ語中級 II (1)、ドイツ語上級 I (1)、ドイツ語上級 II (1)、フランス語中級 I (1)、フランス語中級 II (1)、フランス語上級 I (1)、フランス語上級 II (1)、ロシア語中級 I (1)、ロシア語中級 II (1)、ロシア語上級 I (1)、ロシア語上級 II (1)、中国語中級 I (1)、中国語中級 II (1)、中国語上級 I (1)、中国語上級 II (1)、朝鮮語中級 I (1)、朝鮮語中級 II (1)、朝鮮語上級 I (1)、朝鮮語上級 II (1)、アラビア語中級 I (1)、アラビア語中級 II (1)、アラビア語上級 I (1)、アラビア語上級 II (1)、ポルトガル語中級 I (1)、ポルトガル語中級 II (1)、ポルトガル語上級 I (1)、ポルトガル語上級 II (1)、中級英語(2)、アカデミック・ライティング(2)	
体育		共通	体育理論(2)、体育実技 I (1)、体育実技 II (1)、体育実技 III (1)、体育実技 IV (1)			6
専門基礎	人文・社会科学専門	人文・社会科学	歴史学(2)、人間学(2)、憲法(2)、国際法概論(2)、法学基礎(2)、政治学基礎(2)、社会学基礎(2)、経済学基礎(2)		言語文化論(2)、組織管理(2)、国際関係概論(2)	1 8
	理工学専門	理工学	数学 I (2)、数学 II (2)、数学 III (2)、理工学入門(2)、物理学 I (2)、物理学 II (2)、物理学 III (2)、化学 I (2)、化学 II (2)、数学 I 演習(1)、数学 II 演習(1)、数学 III 演習(1)、基礎科学実験(1)、化学実験(1)、物理学実験(1)		数学 IV (2)、複素関数論(2)、確率・統計(2)、物理学 IV (2)、生物化学(2)、エンジニアリング・メカニクス(2)	3 0
人文・社会科学専門	人間文化学科	人文・社会科学	欧米史概論(2)、アジア史概論(2)、日本史概論(2)、現代史概論(2)、宗教文化論(2)、地域思想論(2)、異文化コミュニケーション論(2)、卒業研究(6)、地域文化論(2)、心理学概論(2)、日本言語文化論(2)、比較文化概論(2)、古典学概論(2)、英語研究(2)、人間文化研究 I (2)、人間文化研究 II (2)、人間文化研究 III (2)	文献講読 I (2)、文献講読 II (2)、欧米史特論(2)、アジア史特論(2)、日本史特論(2)、現代史特論(2)、地域紛争と宗教文化(2)、地域環境論(2)、ストレス管理論(2)、人間関係論(2)、心理学実験法(2)、現代思想(2)、日本古典学特論(2)、比較文化論(2)、メディア文化論(2)、多文化社会論(2)、異文化交流論(2)、地域情報学(2)、政治外交史(2)、文献購読 III (2)	特別講義(1~2)、人文・社会科学専攻他学科の専門科目及び先端学術推進機構長が定めるプログラム科目	6 6
	公共政策学科	人文・社会科学	公共政策総論(2)、政策過程(2)、日本経済(2)、危機管理政策 I (日本)(2)、危機リスク管理原論(2)、国際経済学(2)、社会調査法(2)、経済政策(2)、安全保障法制(2)、行政法(2)、公共政策研究 I (4)、公共政策研究 II (4)、公共政策研究 III (2)、卒業研究(6)、管理学(2)、ゲーム理論(2)	法学(2)、社会学(2)、政治外交史(4)、科学と倫理(2)、公共マーケティング(2)、意思決定論(2)、厚生経済学(2)、危機事案研究 I (2)、危機事案研究 II (2)、危機管理政策 II (中東)(2)、危機管理政策 III (欧州)(2)、危機管理政策 IV (米州)(2)、災害組織論(2)、公共選択(2)、情報と意思決定(2)、刑事法(2)、軍隊と社会(2)、危機管理特論(2)、安全科学総論(安全科学とリスクマネジメント)(2)、海洋環境セキュリティ論(2)、航空宇宙セキュリティ論(2)、ストレス管理論(2)、安全と防災の化学(2)、火薬概論(2)	特別講義(1~2)、人文・社会科学専攻他学科の専門科目及び先端学術推進機構長が定めるプログラム科目	6 6

				、バイオセキュリティ概論(2)、震災工学(2)、大規模災害概論(2)、土木地理学(2)、情報セキュリティ概論(2)、放射線の科学(2)、地域情報学(2)、人的資源管理論(2)、政治学(2)、行政学(2)、日本政治(2)、文化政策論(2)、情報社会論(2)			
国際関係学科	人文・社会科学	国際政治学(4)、国際政治史(4)、国際法(4)、政治外交史(4)、軍備管理論(2)、危機リスク管理原論(2)、危機管理政策Ⅰ(日本)(2)、国際関係研究Ⅰ(4)、国際関係研究Ⅱ(4)、現代地域研究Ⅰ(2)、現代地域研究Ⅱ(2)、卒業研究(6)	安全保障政策論(2)、海洋法概論(2)、国際機構論(2)、危機事案研究Ⅰ(2)、危機事案研究Ⅱ(2)、比較政治(2)、危機管理政策Ⅱ(中東)(2)、危機管理政策Ⅲ(欧州)(2)、危機管理政策Ⅳ(米州)(2)、現代地域研究Ⅲ(2)、現代地域研究Ⅳ(2)、現代地域研究Ⅴ(2)、現代地域研究Ⅵ(2)、国際システム論(2)、科学と倫理(2)、意思決定論(2)、災害組織論(2)、情報と意思決定(2)、危機管理特論(2)、安全科学総論(安全科学とリスクマネジメント)(2)、海洋環境セキュリティ論(2)、航空宇宙セキュリティ論(2)、社会調査法(2)、ストレス管理論(2)、安全と防災の化学(2)、火薬概論(2)、バイオセキュリティ概論(2)、震災工学(2)、大規模災害概論(2)、土木地理学(2)、情報セキュリティ概論(2)、放射線の科学(2)、地域情報学(2)、国際関係特論(2)、現代地域研究Ⅶ(2)	特別講義(1~2)、人文・社会科学専攻他学科の専門科目及び先端学術推進機構長が定めるプログラム科目	6	6	
理工学専門	応用物理学	理工学	応用数学(2)、力学(2)、熱力学(2)、電磁気学(2)、量子力学(2)、統計力学(2)、連続体力学(2)、応用物理学ゼミ(4)、応用物理学演習Ⅰ(1)、応用物理学演習Ⅱ(1)、応用物理学実験Ⅰ(1)、応用物理学実験Ⅱ(1)、卒業研究(6)	応用情報処理(2)、回路論(2)、弾塑性力学(2)、量子物理学(2)、物質科学Ⅰ(2)、物質科学Ⅱ(2)、原子核物理学(2)、先端科学技術概論(2)、プラズマ工学(2)、光科学(2)、応用物理学演習Ⅲ(1)、応用物理学演習Ⅳ(1)	人間情報工学(2)、電子情報工学(2)、バイオメカニクス(2)、計算機シミュレーション科学(2)、高速弾道学(2)、放射線計測(2)、超伝導(2)、応用数理科学(2)、放射線安全管理学(2)、相対性理論(2)、特別講義(1~2)、理工学専攻他学科の専門科目及び先端学術推進機構長が定めるプログラム科目	5	4
	応用化学科	理工学	無機化学(2)、有機化学(2)、物理化学(2)、分析化学(2)、応用無機化学(2)、応用有機化学(2)、応用物理化学(2)、高分子化学Ⅰ(2)、反応化学(2)、燃料化学(2)、火薬学Ⅰ(2)、生命化学Ⅰ(2)、細胞生物学(2)、化学演習(1)、応用化学ゼミ(2)、応用化学実験Ⅰ(1)、応用化学実験Ⅱ(1)、応用化学実験Ⅲ(1)、卒業研究(6)	機器分析化学(2)、高分子化学Ⅱ(2)、プロセス化学(2)、触媒化学(2)、火薬学Ⅱ(2)、生命化学Ⅱ(2)、コンピュータ化学(2)、分子生物学(2)、同位体と材料の無機化学(2)、有機合成化学(2)、分子統計熱力学(2)、生命システム解析学(2)	応用電気化学(2)、遺伝子工学(2)、微生物学(2)、バイオセキュリティ概論(2)、高性能高分子の耐久性の化学(2)、安全と防災の化学(2)、資源環境分析(2)、特別講義(1~2)、理工学専攻他学科の専門科目及び先端学術推進機構長が定めるプログラム科目	5	4
	地球海洋学科	理工学	熱力学(2)、流体力学(2)、応用電磁気学(2)、応用数学(2)、海洋学(2)、天文学(2)、固体力学(2)、気象学概論(2)、振動波動学(2)、情報処理(2)、地球海洋学演習Ⅰ(1)、地球海洋学演習Ⅱ(1)、地球海洋学演習Ⅲ(1)、計算地球科学演習(1)、論文講読演習(1)、地球海洋学実	信号解析(2)、地球惑星科学(2)、応用気象学(2)、宇宙物理学(2)、航空気象学(2)、地球海洋学基礎英語(2)、地球海洋学英語(2)、海洋大気物理学(2)、海洋探知工学(2)、大気科学(2)、リモートセンシング(2)、海洋音響計測(2)、観測地球物理学(2)、地球環境解析学(2)	気候学(2)、衛星画像処理概論(2)、特別講義(1~2)、理工学専攻他学科の専門科目及び先端学術推進機構長が定めるプログラム科目	5	4

			験Ⅰ(1)、地球海洋学実験Ⅱ(1)、卒業研究(6)、地圏環境科学(2)			
電気電子工学科	理工学		電気数学(2)、電子理論(2)、電気計測(2)、電気電子実験Ⅰ(1)、電気電子実験Ⅱ(1)、卒業研究(6)、電気磁気学Ⅰ(2)、電気磁気学Ⅱ(2)、電気回路Ⅰ(2)、電気回路Ⅱ(2)、電気磁気学演習Ⅰ(1)、電気磁気学演習Ⅱ(1)、電気回路演習Ⅰ(1)、電気回路演習Ⅱ(1)	コンピュータ基礎(2)、電子物性(2)、固体電子工学(2)、電子デバイス(2)、制御工学Ⅰ(2)、制御工学Ⅱ(2)、電子回路Ⅰ(2)、電子回路Ⅱ(2)、電気機器(2)、電気エネルギー工学(2)、無線機器(2)	電気電子英語ゼミ(2)、システム工学(2)、光エレクトロニクス(2)、気体エレクトロニクス(2)、電波工学(2)、通信システム(2)、電波法(2)、電気電子英語演習(2)、数値計算法(2)、特別講義(1～2)、理工学専攻他学科の専門科目及び先端学術推進機構長が定めるプログラム科目	5 4
通信工学科	理工学		基礎電磁気学(2)、電磁気学(2)、基礎電気回路(2)、電気回路(2)、電気通信数学(2)、電子回路Ⅰ(2)、通信工学Ⅰ(2)、電波工学Ⅰ(2)、基礎電磁気学演習(1)、基礎電気回路演習(1)、電磁気学演習(1)、通信工学実験Ⅰ(1)、通信工学実験Ⅱ(1)、卒業研究(6)	コンピュータ工学(2)、通信計測(2)、電波工学Ⅱ(2)、デジタル信号処理(2)、通信材料Ⅰ(2)、光通信工学Ⅰ(2)、光通信工学Ⅱ(2)、通信工学Ⅱ(2)、電子理論(2)、基礎プログラミング(2)	応用通信工学(2)、電子回路Ⅱ(2)、応用プログラミング(2)、電波法(2)、通信材料Ⅱ(2)、光電波応用計測(2)、通信工学基礎英語(2)、通信工学英語講読(2)、通信工学実験Ⅲ(1)、光応用工学(2)、通信ネットワークⅠ(2)、通信ネットワークⅡ(2)、レーダ工学(2)、電波航法工学(2)、特別講義(1～2)、理工学専攻他学科の専門科目及び先端学術推進機構長が定めるプログラム科目	5 4
情報工学科	理工学		情報数学(2)、プログラミング言語(2)、オペレーティングシステム(2)、数値計算(2)、基礎アルゴリズム論(2)、情報工学基礎演習(1)、情報工学演習Ⅰ(1)、情報工学演習Ⅱ(1)、情報工学演習Ⅲ(1)、情報工学実験Ⅰ(1)、情報工学実験Ⅱ(1)、卒業研究(6)、電子回路(2)、コンピュータアーキテクチャ(2)、論理設計学(2)、情報理論(2)、符号理論(2)、情報セキュリティ概論(2)	生命と情報(2)、コンピュータネットワーク(2)、アルゴリズムとデータ構造(2)、コンパイラ(2)、数学通論(2)、解析学Ⅰ(2)、代数学Ⅰ(2)、幾何学Ⅰ(2)、応用数学(2)、解析学Ⅱ(2)、代数学Ⅱ(2)、幾何学Ⅱ(2)、計画数理(2)、人工知能Ⅰ(2)、オブジェクト指向プログラミング(2)、データベース論(2)	情報工学英語(2)、英語論文講読(2)、インターネットメディアコミュニケーション(2)、ソフトウェア工学(2)、メディア情報処理(2)、代数入門(2)、数理統計入門(2)、ロボティクス(2)、制御システム論(2)、ネットワークセキュリティ(2)、オペレーションズ・リサーチ(2)、人工知能Ⅱ(2)、計算機言語設計論(2)、地理情報処理(2)、特別講義(1～2)、理工学専攻他学科の専門科目及び先端学術推進機構長が定めるプログラム科目	5 4
機能材料工学科	理工学		基礎電磁気学(2)、機能材料工学概論(2)、材料数学(2)、材料熱力学Ⅰ(2)、基礎電磁気学演習(1)、機能材料工学実験Ⅰ(1)、機能材料工学実験Ⅱ(1)、卒業研究(6)、材料物理学Ⅰ(2)、固体電子物性Ⅰ(2)、材料化学Ⅰ(2)、材料評価学(2)、材料英語講読(4)、材料工学の最前線(2)	電気化学(2)、結晶工学(2)、材料力学(2)、光物性(2)、固体電子物性Ⅱ(2)、基礎電気回路(2)、材料熱力学Ⅱ(2)、材料物理学Ⅱ(2)、材料化学Ⅱ(2)、機器分析(2)、表界面科学(2)	電子材料(2)、光機能材料(2)、材料プロセス学(2)、安全と材料(2)、材料科学英語(2)、エネルギー変換材料(2)、エコマテリアル(2)、特別講義(1～2)、理工学専攻他学科の専門科目及び先端学術推進機構長が定めるプログラム科目	5 4
機械工学科	理工学		機械工学総論(2)、熱力学(2)、流体力学Ⅰ(2)、材料力学Ⅰ(2)、機械材料(2)、機械力学Ⅰ(2)、要素及び機構学(2)、制御工学Ⅰ(2)、計測工学(2)、加工学(2)、コンピュータ演習(1)、機械工学演習Ⅰ(1)、機械工学演習Ⅱ(1)、機械設計製図(1)、機械工学創造実習(1)、基礎機械実習(1)、機械工学実験(1)、卒業研究(6)	伝熱工学(2)、流体力学Ⅱ(2)、材料力学Ⅱ(2)、機械力学Ⅱ(2)、材料強度(2)、自動車工学(2)、精密加工(2)、制御工学Ⅱ(2)、生体機械工学(2)	コンピュータ応用解析(2)、熱機関(2)、メカトロニクス(2)、熱・流体計測(2)、ターボ機械(2)、強度設計(2)、ピークルダイナミクス(2)、システム制御(2)、材料プロセス(2)、専門英語Ⅰ(機械・機械システム)(2)、専門英語Ⅱ(機械・機械システム)(2)、特別講義(1～2)、理工学専攻他学科の専門科目及び先端学術推進機構長が定めるプログラム科目	5 4

機械システム工学	理工学	流体力学Ⅰ(2)、材料力学Ⅰ(2)、熱力学(2)、ものづくりと機械要素設計(2)、機械システム演習Ⅰ(1)、機械システム演習Ⅱ(1)、機械システム実験・実習(1)、卒業研究(6)、機械製図(1)、工業力学(2)、機械力学(2)、制御工学(2)	流体力学Ⅱ(2)、材料力学Ⅱ(2)、内燃機関(2)、海上安全運用学(2)、工業数学(2)、船舶工学(2)、艦艇工学(2)、工業材料(2)、コンピュータ応用解析(2)、メカトロニクス(2)、ロボット工学(2)、メカトロ設計学(2)、機械運動学(2)、機械システム設計製図(1)、機械工作(2)	ガスタービン(2)、精密加工(2)、艦艇工学特論(2)、専門英語Ⅰ(機械・機械システム)(2)、専門英語Ⅱ(機械・機械システム)(2)、特別講義Ⅰ(工学と装備開発)(2)、特別講義Ⅱ(1)、流体機械(2)、メカトロ設計学演習(1)、創成デザイン演習(1)、理工学専攻他学科の専門科目及び先端学術推進機構長が定めるプログラム科目	5 4
航空宇宙工学	理工学	基礎空気力学(2)、航空熱力学(2)、航空材料力学(2)、航空宇宙工学通論(2)、航空宇宙エンジン序論(2)、航空機力学(2)、宇宙航行理論(2)、航空制御工学Ⅰ(2)、ヘリコプタ工学Ⅰ(2)、衛星利用概論(2)、航空宇宙工学設計製図学(2)、航空宇宙工学演習Ⅰ(1)、航空宇宙工学演習Ⅱ(1)、航空宇宙工学演習Ⅲ(1)、航空宇宙工学実験(1)、卒業研究(6)	空気力学Ⅰ(2)、航空機構造力学(2)、高速空気力学(2)、航空宇宙基礎数学(2)、航空機性能設計(2)、ロケット工学(2)、超音速航空ジェットエンジン(2)、コンピュータ解析(2)、航空制御工学Ⅱ(2)、宇宙環境利用(2)、ヘリコプタ工学Ⅱ(2)、航空システム設計(2)、航空宇宙機器学(2)	航空ジェットエンジン(2)、空気力学Ⅱ(2)、高速航空概論(2)、航空宇宙構造設計(2)、ロケット工学通論(2)、航空飛行体振動学(2)、飛行制御システム(2)、宇宙システム設計(2)、飛行体誘導概論(2)、衛星設計(2)、専門英語Ⅰ(航空宇宙)(2)、専門英語Ⅱ(航空宇宙)(2)、特別講義(1~2)、理工学専攻他学科の専門科目及び先端学術推進機構長が定めるプログラム科目	5 4
建設環境工学	理工学	材料力学(2)、流体力学(2)、測量学(2)、構造力学Ⅰ(2)、構造力学Ⅱ(2)、水理学Ⅰ(2)、水理学Ⅱ(2)、コンクリート材料工学(2)、大規模災害対処計画論(2)、土質力学Ⅰ(2)、土質力学Ⅱ(2)、鉄筋コンクリート工学(2)、建設環境工学総論(2)、構造設計学・製図(2)、測量実習(1)、構造・コンクリート実験(1)、土質・水理実験(1)、卒業研究(6)	振動・耐震工学(2)、鋼構造学(2)、海岸工学(2)、防災構造学(2)、環境衛生工学(2)、基礎工学(2)、建設施工学(2)、震災工学(2)、河川工学(2)、交通工学(2)	大規模災害概論(2)、建築工学(2)、環境地盤工学(2)、土木技術英語Ⅰ(4)、土木技術英語Ⅱ(4)、数値解析演習(1)、構造力学Ⅰ演習(1)、構造力学Ⅱ演習(1)、水理学Ⅰ演習(1)、水理学Ⅱ演習(1)、土質力学Ⅰ演習(1)、土質力学Ⅱ演習(1)、鉄筋コンクリート工学演習(1)、特別講義(1~2)、理工学専攻他学科の専門科目及び先端学術推進機構長が定めるプログラム科目	5 4
防衛学	陸上	防衛学基礎Ⅰ(2)、防衛学基礎Ⅱ(2)、国防論(2)、軍事史序論(2)、戦略(2)、作戦(2)、軍事と科学技術(2)、統率(2)、国際情勢と安全保障(2)、作戦基礎(2)、統合作戦(2)	統率に関する特論(1)、国防に関する特論(1)、軍事技術に関する特論(1)、戦略・作戦に関する特論(1)、軍事史に関する特論(1)	国防政策(2)、科学技術と安全保障(2)、戦略論Ⅰ(2)、戦略論Ⅱ(2)、軍事史Ⅰ(2)、軍事史Ⅱ(2)、防衛学専門書講読Ⅰ(2)、防衛学専門書講読Ⅱ(2)、軍事史Ⅲ(2)、防衛英語(2)、特別講義(1~2)	2 4
	海上	防衛学基礎Ⅰ(2)、防衛学基礎Ⅱ(2)、国防論(2)、軍事史序論(2)、戦略(2)、作戦(2)、軍事と科学技術(2)、統率(2)、国際情勢と安全保障(2)、作戦基礎(2)、統合作戦(2)	統率に関する特論(1)、国防に関する特論(1)、軍事技術に関する特論(1)、戦略・作戦に関する特論(1)、軍事史に関する特論(1)	国防政策(2)、科学技術と安全保障(2)、戦略論Ⅰ(2)、戦略論Ⅱ(2)、軍事史Ⅰ(2)、軍事史Ⅱ(2)、防衛学専門書講読Ⅰ(2)、防衛学専門書講読Ⅱ(2)、軍事史Ⅲ(2)、防衛英語(2)、特別講義(1~2)	
	航空	防衛学基礎Ⅰ(2)、防衛学基礎Ⅱ(2)、国防論(2)、軍事史序論(2)、戦略(2)、作戦(2)、軍事と科学技術(2)、統率(2)、国際情勢と安全保障(2)、作戦基礎(2)、統合作戦(2)	統率に関する特論(1)、国防に関する特論(1)、軍事技術に関する特論(1)、戦略・作戦に関する特論(1)、軍事史に関する特論(1)	国防政策(2)、科学技術と安全保障(2)、戦略論Ⅰ(2)、戦略論Ⅱ(2)、軍事史Ⅰ(2)、軍事史Ⅱ(2)、防衛学専門書講読Ⅰ(2)、防衛学専門書講読Ⅱ(2)、軍事史Ⅲ(2)、防衛英語(2)、特別講義(1~2)	

注意

1 教育プログラム科目は、次に示す科目とする。

プログラム名	専攻学科	コース名	授業科目	修
--------	------	------	------	---

				了 単 位 数
危機管理プログラム	公共政策学科・国際関係学科		【必修】 危機リスク管理原論(2)、危機管理政策Ⅰ(日本)(2) 【選択】 危機管理政策Ⅱ(中東)(2)、危機管理政策Ⅲ(欧州)(2)、危機管理政策Ⅳ(米州)(2)、科学と倫理(2)、意思決定論(2)、危機事案研究Ⅰ(2)、危機事案研究Ⅱ(2)、災害組織論(2)、安全科学総論(安全科学とリスクマネジメント)(2)、ストレス管理論(2)、情報と意思決定(2)、安全と防災の化学(2)、火薬概論(2)、バイオセキュリティ概論(2)、震災工学(2)、大規模災害概論(2)、土木地理学(2)、情報セキュリティ概論(2)、海洋環境セキュリティ論(2)、航空宇宙セキュリティ論(2)、放射線の科学(2)	20
安全科学プログラム	応用物理学科	共通	【選択】 安全科学総論(安全科学とリスクマネジメント)(2)、科学と倫理(2)、実験心理学(2)、航空宇宙セキュリティ論(2)	12
		原子力・放射線	【選択】 原子核物理学(2)、放射線計測(2)、同位体と材料の無機化学(2)、安全と防災の化学(2)、資源環境分析(2)、放射線安全管理学(2)、放射線の科学(2)	
		爆発・衝撃破壊	【選択】 高速弾道学(2)、弾塑性力学(2)、火薬学Ⅰ(2)、火薬概論(2)、燃料化学(2)、安全と防災の化学(2)	
		生体機能	【選択】 人間情報工学(2)、バイオメカニクス(2)、微生物学(2)、バイオセキュリティ概論(2)、分子生物学とバイオテクノロジー(2)、安全と防災の化学(2)	
		境界科学	【選択】 原子核物理学(2)、放射線計測(2)、高速弾道学(2)、弾塑性力学(2)、人間情報工学(2)、バイオメカニクス(2)、放射線安全管理学(2)、放射線の科学(2)	
応用化学科	環境科学	【必修】 燃料化学(2)、火薬学Ⅰ(2) 【選択必修】 安全科学総論(安全科学とリスクマネジメント)(2)、科学と倫理(2)、航空宇宙セキュリティ論(2) 【選択】 触媒化学(2)、安全と防災の化学(2)、微生物学(2)、資源環境分析(2)、同位体と材料の無機化学(2)、原子核物理学(2)、放射線計測(2)、地球惑星科学概論(2)		
地球海洋学科	共通	【選択】 安全科学総論(安全科学とリスクマネジメント)(2)、ストレス管理論(2)、実験心理学(2)、カウンセリング(2)、地域環境論(2)、科学と倫理(2)		
	地球環境	【選択】 人間情報工学(2)、バイオメカニクス(2)、観測地球物理学(2)、衛星画像処理概論(2)、気候学(2)、応用気象学(2)、航空気象学(2)、地球環境解析学(2)、安全と防災の化学(2)、資源環境分析(2)		
	センシング環境	【選択】 リモートセンシング(2)、人間情報工学(2)、バイオメカニクス(2)、観測地球物理学(2)、航空宇宙構造設計(2)、地球惑星科学概論(2)、地球環境解析学(2)、安全と防災の化学(2)、宇宙環境利用(2)、放射線計測(2)		
電気電子工学科	電気・電子機能安全	【選択必修】 安全科学総論(安全科学とリスクマネジメント)(2)、ストレス管理論(2)、実験心理学(2)、カウンセリング(2)、科学と倫理(2) 【選択】 制御工学Ⅰ(2)、制御工学Ⅱ(2)、電気機器(2)、電気エネルギー工学(2)、システム工学(2)、光エレクトロニクス(2)、気体エレクトロニクス(2)、電波工学(2)、情報セキュリティ概論(2)、安全と材料(2)		

通信工学科	ネットワークセキュリティ	【選択必修】 コンピュータ工学(2)、デジタル信号処理(2)、通信ネットワークⅠ(2)、通信ネットワークⅡ(2)、情報セキュリティ概論(2)、安全と材料(2) 【選択】 安全科学総論(安全科学とリスクマネジメント)(2)、光・電波と人間(2)、航空宇宙セキュリティ論(2)、科学と倫理(2)、情報と意思決定(2)、海洋環境セキュリティ論(2)
情報工学科	情報工学	【選択】 安全科学総論(安全科学とリスクマネジメント)(2)、オペレーションズ・リサーチ(2)、情報セキュリティ概論(2)、コンピュータネットワーク(2)、ソフトウェア工学(2)、メディア情報処理(2)、地理情報処理(2)、その他の安全科学プログラム科目
機能材料工学科	機能材料	【選択必修】 安全科学総論(安全科学とリスクマネジメント)(2)、実験心理学(2)、安全と材料(2) 【選択】 火薬概論(2)、資源環境分析(2)、放射線の科学(2)、電気エネルギー工学(2)、材料力学(2)、エネルギー変換材料(2)、エコマテリアル(2)、材料プロセス学(2)
機械工学科	共通	【選択必修】 安全科学総論(安全科学とリスクマネジメント)(2)、特別講義Ⅰ(工学と装備開発)(2)
	ビークルデザイン	【必修】 伝熱工学(2)、材料強度(2)、強度設計(2)、熱機関(2)、ビークルダイナミクス(2)
	メカトロデザイン	【必修】 伝熱工学(2)、材料強度(2)、強度設計(2)、システム制御(2)、メカトロニクス(2)
	マシンデザイン	【選択】 伝熱工学(2)、材料強度(2)、強度設計(2)、熱機関(2)、ビークルダイナミクス(2)、システム制御(2)、メカトロニクス(2)
機械システム工学科	共通	【選択】 安全科学総論(安全科学とリスクマネジメント)(2)、特別講義Ⅰ(工学と装備開発)(2)
	海上運用	【選択】 船舶工学(2)、海上安全運用学(2)、艦艇工学(2)、ガスタービン(2)、艦艇工学概論(2)、海洋音響計測(2)、海岸工学(2)、海洋環境セキュリティ論(2)
	ロボティクス	【選択】 工業力学(2)、メカトロニクス(2)、ロボット工学(2)、メカトロ設計学(2)、メカトロ設計学演習(1)、確率・統計(2)、人工知能Ⅰ(2)、メディア情報処理(2)
航空宇宙工学科	航空宇宙	【選択】 安全科学総論(安全科学とリスクマネジメント)(2)、高速航空概論(2)、航空ジェットエンジン(2)、航空宇宙構造設計(2)、ロケット工学通論(2)、宇宙環境利用(2)、宇宙システム設計(2)、飛行制御システム(2)、飛翔体誘導概論(2)、航空宇宙セキュリティ論(2)
建設環境工学科	共通	【選択】 安全科学総論(安全科学とリスクマネジメント)(2)、大規模災害概論(2)、震災工学(2)、振動・耐震工学(2)
	防災・建設	【選択】 鋼構造学(2)、建設施工学(2)、防災構造学(2)、環境衛生工学(2)、交通工学(2)
	災害・環境	【選択】 大規模災害対処計画論(2)、海岸工学(2)、河川工学(2)、基礎工学(2)、環境地盤工学(2)、交通工学(2)
人間文化学科	安全社会	【選択】 地域環境論(2)、ストレス管理論(2)、安全科学総論(安全科学とリスクマネジメント)(2)、安全と防災の化学(2)、火薬概論(2)、バイオセキュリティ概論(2)、震災工学(2)、大規模災害概論(2)、情報セキュリティ概論(2)、海洋環境セキュリティ論(2)、航空宇宙セキュリティ論(2)、放射線の科学(2)
公共政策学科・	安全社会	【選択】

	国際関係学科		安全と防災の化学(2)、火薬概論(2)、バイオセキュリティ概論(2)、震災工学(2)、大規模災害概論(2)、情報セキュリティ概論(2)、海洋環境セキュリティ論(2)、航空宇宙セキュリティ論(2)、放射線の科学(2)、安全科学総論(安全科学とリスクマネジメント)(2)、科学と倫理(2)、危機事案研究Ⅰ(2)、危機事案研究Ⅱ(2)、災害組織論(2)、ストレス管理論(2)、情報と意思決定(2)、地域情報学(2)	
生命科学プログラム	応用化学科		【選択】 生命化学Ⅰ(2)、細胞生物学(2)、生命化学Ⅱ(2)、生命システム解析学(2)、遺伝子工学(2)、微生物学(2) 【選択】 科学と倫理(2)、安全科学総論(安全科学とリスクマネジメント)(2)、ストレス管理論(2) 【選択】 バイオセキュリティ概論(2)、同位体と材料の無機化学(2)、資源環境分析(2)、安全と防災の化学(2)、放射線計測(2)、人間情報工学(2)、エコマテリアル(2)、生命と情報(2)	18
領域横断(宇宙・サイバー・電磁波)プログラム	全学科	共通	【必修】 作戦基礎(2)、軍事と科学技術(2)	16
		宇宙	【選択必修】 航空宇宙工学通論(2)、航空宇宙工学概論(2)、飛行機とロケット(2)、航空宇宙セキュリティ論(2)、ロケット工学通論(2)、宇宙環境利用(2)、航空宇宙機器学(2)	
		サイバー	【選択必修】 情報セキュリティ概論(2)、コンピュータネットワーク(2)、人工知能Ⅰ(2)、オペレーティングシステム(2)、ネットワークセキュリティ(2)、領域国際法(2)	
		電磁波	【選択必修】 物理学Ⅳ(2)、先端エレクトロニクス入門(2)、無線機器(2)、通信システム(2)、光・電波と人間(2)、電波航法工学(2)	
国際教育プログラム	全学科		【選択】(文化・国際教養・情報系科目) 欧米史研究(2)、日本・アジア史研究(2)、漢文学(2)、地域研究(2)、領域国際法(2)、戦争と国際法(2)、国際関係論概説(2)、多文化社会論(2)、異文化交流論(2)、地域情報学(2)、科学と倫理(2)、海洋法概論(2)、国際機構論(2)、インターネットメディアコミュニケーション(2)、情報セキュリティ概論(2) 【選択】(語学系科目) ドイツ語中級Ⅰ(1)、ドイツ語中級Ⅱ(1)、ドイツ語上級Ⅰ(1)、ドイツ語上級Ⅱ(1)、フランス語中級Ⅰ(1)、フランス語中級Ⅱ(1)、フランス語上級Ⅰ(1)、フランス語上級Ⅱ(1)、ロシア語中級Ⅰ(1)、ロシア語中級Ⅱ(1)、ロシア語上級Ⅰ(1)、ロシア語上級Ⅱ(1)、中国語中級Ⅰ(1)、中国語中級Ⅱ(1)、中国語上級Ⅰ(1)、中国語上級Ⅱ(1)、朝鮮語中級Ⅰ(1)、朝鮮語中級Ⅱ(1)、朝鮮語上級Ⅰ(1)、朝鮮語上級Ⅱ(1)、アラビア語中級Ⅰ(1)、アラビア語中級Ⅱ(1)、アラビア語上級Ⅰ(1)、アラビア語上級Ⅱ(1)、ポルトガル語中級Ⅰ(1)、ポルトガル語中級Ⅱ(1)、ポルトガル語上級Ⅰ(1)、ポルトガル語上級Ⅱ(1)、中級英語(2)、アカデミック・ライティング(2)、時事英語(2)、スピーチ&ディベート(2)	10

別表第2-2 (第6条関係)

本科教育課程の科目及び単位

部 門	区 分	専 攻 又 は 要 員	授 業 科 目			履 修 単 位 数
			必 修	選 択 必 修	選 択	
教養教育		人文・社会科学	基礎ゼミナール(1)、戦後史と防衛大学校(1)、数学A(2)、数学B(2)、近現代史概説(2)、物理学(概論)(2)、化学序論(2)、自然科学実験(2)	地球と海洋(2)、先端エレクトロニクス入門(2)、コンピュータリテラシー(2)、メカライフ(機械と社会)(2)、飛行機とロケット(2)、土木地理学(2)、地域研究A(2)、地域研究B(2)	独語特講Ⅰ(2)、独語特講Ⅱ(2)、仏語特講Ⅰ(2)、仏語特講Ⅱ(2)、露語特講Ⅰ(2)、露語特講Ⅱ(2)、中国語特講Ⅰ(2)、中国語特講Ⅱ(2)、朝鮮語特講Ⅰ(2)、朝鮮語特講Ⅱ(2)、アラビア語特講Ⅰ(2)、アラビア語特講Ⅱ(2)、ポルトガル語特講Ⅰ(2)、ポルトガル語特講Ⅱ(2)、グローバルコミュニケーションⅠ(1)、グローバルコミュニケーションⅡ(1)、グローバルコミュニケーションⅢ(1)、地理学研究(2)、欧米史研究(2)、日本・アジア史研究(2)、実験心理学(2)、カウンセリング(2)、哲学研究(2)、中国思想研究(2)、近代文学史(2)、日本文学評論(2)、漢文学(2)、組織経営とリーダーシップ(2)、領域国際法(2)、現代社会と法(2)、戦争と国際法(2)、安全科学総論(安全科学とリスクマネジメント)(2)、戦争論研究(2)、太平洋戦争への道(2)、スポーツのコーチング(2)、身体と運動の科学(2)、武道史と武道論考(2)、スポーツ技術論(2)、図形科学(2)、振動と震動の世界(2)、航空宇宙セキュリティ論(2)、火薬概論(2)、分子生物学とバイオテクノロジー(2)、地球惑星科学概論(2)、放射線の科学(2)、現代数学の思想(2)、日本語研究Ⅰ(2)、日本語研究Ⅱ(2)、特別講義(1~2)、及び先端学術推進機構長が定めるプログラム科目	24
		理工学	基礎ゼミナール(1)、戦後史と防衛大学校(1)、憲法(2)、国際法(2)、国際関係論基礎(2)	歴史概論Ⅰ(2)、歴史概論Ⅱ(2)、心理学(2)、思想と文化(2)、言語と文化(2)、近現代史概説(2)、日本外交史(2)、政治学(2)、経済学(2)、法学(2)、地域研究A(2)、地域研究B(2)、	独語特講Ⅰ(2)、独語特講Ⅱ(2)、仏語特講Ⅰ(2)、仏語特講Ⅱ(2)、露語特講Ⅰ(2)、露語特講Ⅱ(2)、中国語特講Ⅰ(2)、中国語特講Ⅱ(2)、朝鮮語特講Ⅰ(2)、朝鮮語特講Ⅱ(2)、アラビア語特講Ⅰ(2)、アラビア語特講Ⅱ(2)、ポルトガル語特講Ⅰ(2)、ポルトガル語特講Ⅱ(2)、グローバルコミュニケーションⅠ(1)、グローバルコミュニケーションⅡ(1)、グローバルコミュニケーションⅢ(1)、地理学研究(2)、欧米史研究(2)、日本・アジア史研究(2)、実験心理学(2)、カウンセリング(2)、哲学研究(2)、中国思想研究(2)、近代文学史(2)、日本文学評論(2)、漢文学(2)、組織経営とリーダーシップ(2)、領域国際法(2)、現代社会と法(2)、戦争と国際法(2)、安全科学総論(安全科学とリスクマネジメント)(2)、戦争論研究(2)、太平洋戦争への道(2)、スポーツのコーチング(2)、身体と運動の科学(2)、武道史と武道論考(2)、スポーツ技術論(2)、図形科学(2)	24

					、振動と震動の世界(2)、航空宇宙工学概論(2)、航空宇宙セキュリティ論(2)、火薬概論(2)、分子生物学とバイオテクノロジー(2)、光・電波と人間(2)、地球惑星科学概論(2)、土木工学概論(2)、放射線の科学(2)、現代数学の思想(2)、日本語研究Ⅰ(2)、日本語研究Ⅱ(2)、特別講義(1～2)及び先端学術推進機構長が定めるプログラム科目	
外国語		共通	大学英語基礎(2)、大学英語読解(2)、英語表現法Ⅰ(2)、英語表現法Ⅱ(2)、英語特講Ⅰ(2)、英語特講Ⅱ(2)	独語(2)、仏語(2)、露語(2)、中国語(2)、朝鮮語(2)、アラビア語(2)、ポルトガル語(2)、日本語(2)	英語演習(2)、独語演習(2)、仏語演習(2)、露語演習(2)、中国語演習(2)、朝鮮語演習(2)、アラビア語演習(2)、ポルトガル語演習(2)、時事英語(2)、スピーチ&ディベート(2)	14
体育		共通	体育理論(2)、体育実技Ⅰ(1)、体育実技Ⅱ(1)、体育実技Ⅲ(1)、体育実技Ⅳ(1)			6
専門基礎	人文・社会科学専門	人文・社会科学	歴史学(2)、人間学(2)、政治学(2)、社会現象と統計(2)、経済学(2)、憲法(2)、国際法概論(2)、法学基礎(2)		言語文化論(2)、組織管理(2)、国際関係概論(2)	18
	理工学専門	理工学	数学Ⅰ(2)、数学Ⅱ(2)、数学Ⅲ(2)、理工学入門(2)、物理学Ⅰ(2)、物理学Ⅱ(2)、物理学Ⅲ(2)、化学Ⅰ(2)、化学Ⅱ(2)、数学Ⅰ演習(1)、数学Ⅱ演習(1)、数学Ⅲ演習(1)、基礎科学実験(1)、化学実験(1)、物理学実験(1)		数学Ⅳ(2)、複素関数論(2)、確率・統計(2)、物理学Ⅳ(2)、生物化学(2)、エンジニアリング・メカニクス(2)	30
人文・社会科学専門	人間文化学	人文・社会科学	欧米史概論(2)、アジア史概論(2)、日本史概論(2)、現代史概論(2)、宗教文化論(2)、文化地理学(2)、心理学概説(2)、地域思想論(2)、文化人類学(2)、日本語文化論Ⅰ(2)、日本語文化論Ⅱ(2)、日本語文化論Ⅲ(2)、異文化コミュニケーション論(2)、英語コミュニケーション論(2)、英語言語文化論(4)、英米文化論(4)、卒業研究(6)	歴史学研究Ⅰ(2)、歴史学研究Ⅱ(2)、歴史学研究Ⅲ(2)、人間学研究Ⅰ(2)、人間学研究Ⅱ(2)、人間学研究Ⅲ(2)、言語文化研究Ⅰ(2)、言語文化研究Ⅱ(2)、言語文化研究Ⅲ(2)、言語文化研究Ⅳ(2)、人間文化研究Ⅰ(2)、人間文化研究Ⅱ(2)、人間文化研究Ⅲ(2)、ドイツ語ゼミナールⅠ(2)、ドイツ語ゼミナールⅡ(2)、ドイツ語ゼミナールⅢ(2)、ドイツ語ゼミナールⅣ(2)、フランス語ゼミナールⅠ(2)、フランス語ゼミナールⅡ(2)、フランス語ゼミナールⅢ(2)、フランス語ゼミナールⅣ(2)、中国語ゼミナールⅠ(2)、中国語ゼミナールⅡ(2)、中国語ゼミナールⅢ(2)、中国語ゼミナールⅣ(2)、ロシア語ゼミナールⅠ(2)、ロシア語ゼミナールⅡ(2)、ロシア語ゼミナールⅢ(2)、ロシア語ゼミナールⅣ(2)、朝鮮語ゼミナールⅠ(2)、朝鮮語ゼミナールⅡ(2)、朝鮮語ゼミナールⅢ(2)、朝鮮語ゼミナールⅣ(2)、アラビア語ゼミナールⅠ(2)、アラビア語ゼミナールⅡ(2)、アラビア語ゼミナールⅢ(2)、アラビア語ゼミナールⅣ(2)、ポルトガル語ゼミナールⅠ(2)、ポルトガル語ゼミナールⅡ(2)、ポルトガル語ゼ	欧米史特論(2)、アジア史特論(2)、日本史特論(2)、地域紛争と宗教文化(2)、地域環境論(2)、ストレス管理論(2)、人間関係論(2)、心理学実験法(2)、現代思想(2)、比較文化論(2)、メディア文化論(2)、アジア社会論(2)、日本古典学特論(2)、多文化社会論(2)、異文化交流論(2)、異文化コミュニケーション概論(2)、英語コミュニケーション概論(2)、地域情報学(2)、英語文献講読(2)、政治外交史(4)、特別講義(1～2)、人文・社会科学専攻他学科の専門科目及び先端学術推進機構長が定めるプログラム科目	66

				ミナールⅢ(2)、ポルトガル語ゼミナールⅣ(2)、文献講読Ⅰ(2)、文献講読Ⅱ(2)			
公共政策学科	人文・社会科学	公共政策総論(2)、政策過程(2)、組織と戦略(2)、日本経済(2)、危機管理政策Ⅰ(日本)(2)、危機リスク管理原論(2)、国際経済学(2)、経済統計(2)、社会調査法(2)、経済政策(2)、安全保障法制(2)、行政法(2)、公共政策研究Ⅰ(4)、公共政策研究Ⅱ(4)、公共政策研究Ⅲ(2)、卒業研究(6)	法学(2)、社会学(2)、組織比較(2)、司法制度(2)、政治外交史(4)、科学と倫理(2)、公共マーケティング(2)、意思決定論(2)、厚生経済学(2)、国際公共政策(2)、政治思想(2)、危機事案研究Ⅰ(2)、危機事案研究Ⅱ(2)、危機管理政策Ⅱ(中東)(2)、危機管理政策Ⅲ(欧州)(2)、危機管理政策Ⅳ(米州)(2)、災害組織論(2)、公共選択(2)、情報と意思決定(2)、刑事法(2)、軍隊と社会(2)、危機管理特論(2)、安全科学総論(安全科学とリスクマネジメント)(2)、海洋環境セキュリティ論(2)、航空宇宙セキュリティ論(2)、ストレス管理論(2)、安全と防災の化学(2)、火薬概論(2)、バイオセキュリティ概論(2)、震災工学(2)、大規模災害概論(2)、土木地理学(2)、情報セキュリティ概論(2)、放射線の科学(2)、地域情報学(2)	特別講義(1~2)、人文・社会科学専攻他学科の専門科目及び先端学術推進機構長が定めるプログラム科目	6	6	
国際関係学科	人文・社会科学	国際政治学(4)、国際政治史(4)、国際法(4)、政治外交史(4)、軍備管理論(2)、危機リスク管理原論(2)、危機管理政策Ⅰ(日本)(2)、国際関係研究Ⅰ(4)、国際関係研究Ⅱ(4)、現代地域研究Ⅰ(2)、現代地域研究Ⅱ(2)、卒業研究(6)	安全保障政策論(2)、海洋法概論(2)、国際機構論(2)、地域研究特論(2)、危機事案研究Ⅰ(2)、危機事案研究Ⅱ(2)、比較政治(2)、危機管理政策Ⅱ(中東)(2)、危機管理政策Ⅲ(欧州)(2)、危機管理政策Ⅳ(米州)(2)、国際関係特論(2)、現代地域研究Ⅲ(2)、現代地域研究Ⅳ(2)、現代地域研究Ⅴ(2)、現代地域研究Ⅵ(2)、現代地域研究Ⅶ(2)、現代地域研究Ⅷ(2)、国際システム論(2)、科学と倫理(2)、意思決定論(2)、災害組織論(2)、情報と意思決定(2)、危機管理特論(2)、安全科学総論(安全科学とリスクマネジメント)(2)、海洋環境セキュリティ論(2)、航空宇宙セキュリティ論(2)、社会調査法(2)、ストレス管理論(2)、安全と防災の化学(2)、火薬概論(2)、バイオセキュリティ概論(2)、震災工学(2)、大規模災害概論(2)、土木地理学(2)、情報セキュリティ概論(2)、放射線の科学(2)、地域情報学(2)	特別講義(1~2)、人文・社会科学専攻他学科の専門科目及び先端学術推進機構長が定めるプログラム科目	6	6	
理工学専門	応用物理学	理工学	応用数学(2)、力学(2)、熱力学(2)、電磁気学(2)、量子力学(2)、統計力学(2)、連続体力学(2)、応用物理学ゼミ(4)、応用物理学演習Ⅰ(1)、応用物理学演習Ⅱ(1)、応用物理学実験Ⅰ(1)、応用物理学実験Ⅱ(1)、卒業研究(6)	応用情報処理(2)、回路論(2)、弾塑性力学(2)、量子物理学(2)、物質科学Ⅰ(2)、物質科学Ⅱ(2)、原子核物理学(2)、先端科学技術概論(2)、プラズマ工学(2)、光科学(2)、応用物理学演習Ⅲ(1)、応用物理学演習Ⅳ(1)	人間情報工学(2)、電子情報工学(2)、相対性理論と宇宙(2)、バイオメカニクス(2)、計算機シミュレーション科学(2)、高速弾道学(2)、放射線計測(2)、超伝導(2)、応用数理学(2)、放射線安全管理学(2)、特別講義(1~2)、理工学専攻他学科の専門科目及び先端学術推進機構長が定めるプログラム科目	5	4
	応用化学	理工学	無機化学(2)、有機化学(2)、物理化学(2)、分析化学(2)、応用無機化学(2)	機器分析化学(2)、高分子化学Ⅱ(2)、プロセス化学(2)、触媒化学(2)、火薬学Ⅱ(2)、	応用電気化学(2)、遺伝子工学(2)、微生物学(2)、バイオセキュリティ概論(2)、高性能高分子の	5	4

		、応用有機化学(2)、応用物理化学(2)、高分子化学I(2)、反応化学(2)、燃料化学(2)、火薬学I(2)、生命化学I(2)、細胞生物学(2)、化学演習(1)、応用化学ゼミ(2)、応用化学実験I(1)、応用化学実験II(1)、応用化学実験III(1)、卒業研究(6)	生命化学II(2)、コンピュータ化学(2)、分子生物学(2)、同位体と材料の無機化学(2)、有機合成化学(2)、分子統計熱力学(2)、生命システム解析学(2)	耐久性の化学(2)、安全と防災の化学(2)、資源環境分析(2)、特別講義(1~2)、理工学専攻他学科の専門科目及び先端学術推進機構長が定めるプログラム科目	
地球海洋学科	理工学	熱力学(2)、流体力学(2)、応用電磁気学(2)、応用数学(2)、海洋学(2)、天文学(2)、固体力学(2)、気象学概論(2)、地圏科学(2)、振動波動学(2)、情報処理(2)、地球海洋学演習I(1)、地球海洋学演習II(1)、地球海洋学演習III(1)、計算地球科学演習(1)、論文講読演習(1)、地球海洋学実験I(1)、地球海洋学実験II(1)、卒業研究(6)	リモートセンシングI(2)、信号解析(2)、海洋計測工学(2)、地球惑星科学(2)、地球科学(2)、海洋音響工学(2)、環境地球科学(2)、応用気象学(2)、宇宙物理学(2)、リモートセンシングII(2)、航空気象学(2)、天気予報論(2)、地球海洋学基礎英語(2)、地球海洋学英語(2)、海洋大気物理学(2)、海洋探知工学(2)、大気科学(2)、応用地球物理学(2)	センシング工学(2)、気候学(2)、衛星画像処理概論(2)、特別講義(1~2)、理工学専攻他学科の専門科目及び先端学術推進機構長が定めるプログラム科目	5 4
電気電子工学科	理工学	基礎電磁気学(2)、電気磁気学(2)、基礎電気回路(2)、電気回路(2)、電気数学(2)、電子理論(2)、電気計測(2)、基礎電磁気学演習(1)、電気磁気学演習(1)、基礎電気回路演習(1)、電気回路演習(1)、電気電子実験I(1)、電気電子実験II(1)、卒業研究(6)	コンピュータ基礎(2)、電子物性(2)、固体電子工学(2)、電子デバイス(2)、制御工学I(2)、制御工学II(2)、電子回路I(2)、電子回路II(2)、電気機器(2)、電気エネルギー工学(2)、無線機器(2)	電気電子英語ゼミ(2)、コンピュータ応用(2)、システム工学(2)、光エレクトロニクス(2)、気体エレクトロニクス(2)、電波工学(2)、通信システム(2)、電波法(2)、電気電子英語演習(2)、特別講義(1~2)、理工学専攻他学科の専門科目及び先端学術推進機構長が定めるプログラム科目	5 4
通信工学科	理工学	基礎電磁気学(2)、電磁気学(2)、基礎電気回路(2)、電気回路(2)、電気通信数学(2)、電子理論(2)、電子回路I(2)、通信工学I(2)、通信工学II(2)、光波工学I(2)、電波工学I(2)、通信材料I(2)、光通信工学(2)、基礎電磁気学演習(1)、基礎電気回路演習(1)、電磁気学演習(1)、通信工学実験I(1)、通信工学実験II(1)、通信工学実験III(1)、卒業研究(6)	コンピュータ工学(2)、通信計測(2)、通信方式学(2)、情報理論(2)、光波工学II(2)、電波工学II(2)、光情報通信ネットワーク(2)、通信伝送工学(2)、レーダ工学(2)、波動工学(2)、電波航法工学(2)、デジタル信号処理(2)、	応用通信工学(2)、電子回路II(2)、応用プログラミング(2)、電波法(2)、通信材料II(2)、光電波応用計測(2)、通信工学基礎英語(2)、通信工学英語講読(2)、特別講義(1~2)、理工学専攻他学科の専門科目及び先端学術推進機構長が定めるプログラム科目	5 4
情報工学科	理工学	電気回路(2)、計算機システム概論(2)、情報と符号化(2)、情報数学(2)、論理回路(2)、プログラミング言語(2)、オペレーティングシステム(2)、数値計算(2)、制御システム論I(2)、基礎アルゴリズム論(2)、基礎インターネットプログラミング(2)、情報工学基礎演習(1)、情報工学演習I(1)、情報工学演習II(1)、情報工学演習III(1)、情	生命と情報(2)、オペレーションズ・リサーチ概論(2)、人工知能(2)、コンピュータネットワーク(2)、アルゴリズムとデータ構造(2)、コンパイラ(2)、情報認識論(2)、オペレーションズ・リサーチ応用(2)、情報セキュリティ概論(2)、数学通論(2)、解析学I(2)、代数学I(2)、幾何学I(2)、応用数学(2)、解析学II(2)、代数学II(2)、幾何学II(2)	情報工学英語(2)、英語論文講読(2)、インターネットメディアコミュニケーション(2)、制御システム論II(2)、ソフトウェア工学(2)、データベース論(2)、生物計算(2)、メディア情報処理(2)、コンピュータ・シミュレーション(2)、代数入門(2)、数理統計入門(2)、ロボティクス(2)、特別講義(1~2)、理工学専攻他学科の専門科目及び先端学術推進機構長が定めるプログラム科目	5 4

		報工学実験Ⅰ(1)、情報工学実験Ⅱ(1)、卒業研究(6)			
機能材料工学科	理工学	基礎電磁気学(2)、基礎電気回路(2)、機能材料工学概論(2)、材料数学(2)、電磁理論(2)、コンピュータ概論(2)、材料熱力学Ⅰ(2)、材料熱力学Ⅱ(2)、固体物性Ⅰ(2)、固体物性Ⅱ(2)、電子物性(2)、基礎電磁気学演習(1)、基礎電気回路演習(1)、機能材料工学実験Ⅰ(1)、機能材料工学実験Ⅱ(1)、卒業研究(6)	電気化学(2)、結晶工学(2)、半導体工学(2)、材料評価学(2)、材料力学(2)、エネルギー材料(2)、環境対応材料(2)、光物性(2)	電子材料(2)、複合材料(2)、光機能材料(2)、材料プロセス学(2)、安全と材料(2)、材料科学英語(2)、材料英語講読(2)、特別講義(1～2)、理工学専攻他学科の専門科目及び先端学術推進機構長が定めるプログラム科目	5 4
機械工学科	理工学	機械工学総論(2)、熱力学(2)、流体力学Ⅰ(2)、材料力学Ⅰ(2)、機械材料(2)、機械力学Ⅰ(2)、要素及び機構学(2)、制御工学Ⅰ(2)、計測工学(2)、加工学(2)、コンピュータ演習(1)、機械工学演習Ⅰ(1)、機械工学演習Ⅱ(1)、機械設計製図(1)、機械工学創造実習(1)、基礎機械実習(1)、機械工学実験(1)、卒業研究(6)	伝熱工学(2)、流体力学Ⅱ(2)、材料力学Ⅱ(2)、機械力学Ⅱ(2)、材料強度(2)、自動車工学(2)、精密加工(2)、制御工学Ⅱ(2)、生体機械工学(2)	コンピュータ応用解析(2)、熱機関(2)、メカトロニクス(2)、熱・流体計測(2)、ターボ機械(2)、強度設計(2)、ピークルダイナミクス(2)、システム制御(2)、材料プロセス(2)、専門英語Ⅰ(機械・機械システム)(2)、専門英語Ⅱ(機械・機械システム)(2)、特別講義(1～2)、理工学専攻他学科の専門科目及び先端学術推進機構長が定めるプログラム科目	5 4
機械システム工学科	理工学	流体力学Ⅰ(2)、機械システム運動学(2)、材料力学Ⅰ(2)、熱力学(2)、機械システム材料Ⅰ(2)、機械力学Ⅰ(2)、制御工学Ⅰ(2)、計測工学(2)、コンピュータ応用解析Ⅰ(2)、機械工作(2)、ものづくりと機械要素設計(2)、機械システム演習Ⅰ(1)、機械システム演習Ⅱ(1)、機械システム設計製図Ⅰ(1)、機械システム設計製図Ⅱ(1)、機械システム実験・実習(1)、卒業研究(6)	電気電子工学(2)、機械システム数学(2)、流体力学Ⅱ(2)、材料力学Ⅱ(2)、内燃機関(2)、船舶工学A(2)、流体機械(2)、機械力学Ⅱ(2)、機械システム材料Ⅱ(2)、船舶工学B(2)、海上安全運用学(2)、コンピュータ応用解析Ⅱ(2)、制御工学Ⅱ(2)	ガスタービン(2)、精密加工(2)、艦艇工学特論(2)、艦艇工学概論(2)、高温強度(2)、ロボット・メカトロニクス(2)、専門英語Ⅰ(機械・機械システム)(2)、専門英語Ⅱ(機械・機械システム)(2)、特別講義Ⅰ(工学と装備開発)(2)、特別講義Ⅱ(1)、理工学専攻他学科の専門科目及び先端学術推進機構長が定めるプログラム科目	5 4
航空宇宙工学科	理工学	基礎空気力学(2)、航空熱力学(2)、航空材料力学(2)、航空宇宙工学通論(2)、航空宇宙エンジン序論(2)、航空機力学(2)、宇宙航行理論(2)、航空制御工学Ⅰ(2)、ヘリコプタ工学Ⅰ(2)、衛星利用概論(2)、航空宇宙工学設計製図学(2)、航空宇宙工学演習Ⅰ(1)、航空宇宙工学演習Ⅱ(1)、航空宇宙工学演習Ⅲ(1)、航空宇宙工学実験(1)、卒業研究(6)	空気力学Ⅰ(2)、航空機構造力学(2)、高速空気力学(2)、航空宇宙基礎数学(2)、航空機性能設計(2)、ロケット工学(2)、超音速航空ジェットエンジン(2)、コンピュータ解析(2)、航空制御工学Ⅱ(2)、宇宙環境利用(2)、ヘリコプタ工学Ⅱ(2)、航空システム設計(2)、航空宇宙機器学(2)	航空ジェットエンジン(2)、空気力学Ⅱ(2)、高速航空概論(2)、航空宇宙構造設計(2)、ロケット工学通論(2)、航空飛翔体振動学(2)、飛行制御システム(2)、宇宙システム設計(2)、飛翔体誘導概論(2)、衛星設計(2)、専門英語Ⅰ(航空宇宙)(2)、専門英語Ⅱ(航空宇宙)(2)、特別講義(1～2)、理工学専攻他学科の専門科目及び先端学術推進機構長が定めるプログラム科目	5 4
建設環境工学科	理工学	材料力学(2)、流体力学(2)、測量学(2)、構造力学Ⅰ(2)、構造力学Ⅱ(2)、水理学Ⅰ(2)、水理学Ⅱ(2)、コンクリート材料工学(2)、大規模災害対処計画論(2)、土質力学Ⅰ(2)、土質力学Ⅱ(2)、鉄筋コンクリー	振動・耐震工学(2)、鋼構造学(2)、海岸工学(2)、防災構造学(2)、環境衛生工学(2)、基礎工学(2)、建設施工学(2)、震災工学(2)、河川工学(2)、交通工学(2)	大規模災害概論(2)、建築工学(2)、環境地盤工学(2)、土木技術英語Ⅰ(4)、土木技術英語Ⅱ(4)、数値解析演習(1)、構造力学Ⅰ演習(1)、構造力学Ⅱ演習(1)、水理学Ⅰ演習(1)、水理学Ⅱ演習(1)、土質力学Ⅰ演習(1)、土質力学Ⅱ演習(1)、鉄筋コンクリート工学演習(1)、特別講義(1～2)、理工学専	5 4

			ト工学(2)、建設環境工学総論(2)、構造設計学・製図(2)、測量実習(1)、構造・コンクリート実験(1)、土質・水理実験(1)、卒業研究(6)		攻他学科の専門科目及び先端学術推進機構長が定めるプログラム科目	
防衛学	陸上	防衛学基礎Ⅰ(2)、防衛学基礎Ⅱ(2)、国防論(2)、軍事史序論(2)、戦略(2)、作戦(2)、軍事と科学技術(2)、統率(2)、国際情勢と安全保障(2)、サイバー戦概論(2)、陸上作戦(2)	統率に関する特論(1)、国防に関する特論(1)、軍事技術に関する特論(1)、戦略・作戦に関する特論(1)、軍事史に関する特論(1)	国防政策(2)、科学技術と安全保障(2)、戦略論Ⅰ(2)、戦略論Ⅱ(2)、軍事史Ⅰ(2)、軍事史Ⅱ(2)、防衛学専門書講読Ⅰ(2)、防衛学専門書講読Ⅱ(2)、実用軍事英語(2)、特別講義(1~2)	24	
	海上	防衛学基礎Ⅰ(2)、防衛学基礎Ⅱ(2)、国防論(2)、軍事史序論(2)、戦略(2)、作戦(2)、軍事と科学技術(2)、統率(2)、国際情勢と安全保障(2)、サイバー戦概論(2)、海上作戦(2)	統率に関する特論(1)、国防に関する特論(1)、軍事技術に関する特論(1)、戦略・作戦に関する特論(1)、軍事史に関する特論(1)	国防政策(2)、科学技術と安全保障(2)、戦略論Ⅰ(2)、戦略論Ⅱ(2)、軍事史Ⅰ(2)、軍事史Ⅱ(2)、防衛学専門書講読Ⅰ(2)、防衛学専門書講読Ⅱ(2)、実用軍事英語(2)、特別講義(1~2)		
	航空	防衛学基礎Ⅰ(2)、防衛学基礎Ⅱ(2)、国防論(2)、軍事史序論(2)、戦略(2)、作戦(2)、軍事と科学技術(2)、統率(2)、国際情勢と安全保障(2)、サイバー戦概論(2)、航空作戦(2)	統率に関する特論(1)、国防に関する特論(1)、軍事技術に関する特論(1)、戦略・作戦に関する特論(1)、軍事史に関する特論(1)	国防政策(2)、科学技術と安全保障(2)、戦略論Ⅰ(2)、戦略論Ⅱ(2)、軍事史Ⅰ(2)、軍事史Ⅱ(2)、防衛学専門書講読Ⅰ(2)、防衛学専門書講読Ⅱ(2)、実用軍事英語(2)、特別講義(1~2)		

注意

1 教育プログラム科目は、次に示す科目とする。

プログラム名	専攻学科	コース名	授 業 科 目	修了単位数
危機管理プログラム	公共政策学科・国際関係学科		【必修】 危機リスク管理原論(2)、危機管理政策Ⅰ(日本)(2) 【選択】 危機管理政策Ⅱ(中東)(2)、危機管理政策Ⅲ(欧州)(2)、危機管理政策Ⅳ(米州)(2)、科学と倫理(2)、意思決定論(2)、危機事案研究Ⅰ(2)、危機事案研究Ⅱ(2)、災害組織論(2)、安全科学総論(安全科学とリスクマネジメント)(2)、ストレス管理論(2)、情報と意思決定(2)、安全と防災の化学(2)、火薬概論(2)、バイオセキュリティ概論(2)、震災工学(2)、大規模災害概論(2)、土木地理学(2)、情報セキュリティ概論(2)、海洋環境セキュリティ論(2)、航空宇宙セキュリティ論(2)、放射線の科学(2)	20
安全科学プログラム	応用物理学科	共通	【選択】 安全科学総論(安全科学とリスクマネジメント)(2)、科学と倫理(2)、実験心理学(2)、航空宇宙セキュリティ論(2)	12
		原子力・放射線	【選択】 原子核物理学(2)、放射線計測(2)、同位体と材料の無機化学(2)、安全と防災の化学(2)、資源環境分析(2)、放射線安全管理学(2)、放射線の科学(2)	
		爆発・衝撃破壊	【選択】 高速弾道学(2)、弾塑性力学(2)、火薬学Ⅰ(2)、火薬概論(2)、燃料化学(2)、安全と防災の化学(2)	
		生体機能	【選択】 人間情報工学(2)、バイオメカニクス(2)、微生物学(2)、分子生物学とバイオテクノロジー(2)、身体と運動の科学(2)、安全と防災の化学(2)	
		境界科学	【選択】 原子核物理学(2)、放射線計測(2)、高速弾道学(2)、弾塑性力学(2)、人間情報工学(2)、バイオメカニクス(2)、放射線安全管理学(2)、放射線の科学(2)	

応用化学科	環境科学	<p>【必修】 燃料化学(2)、火薬学Ⅰ(2)</p> <p>【選択必修】 安全科学総論(安全科学とリスクマネジメント)(2)、科学と倫理(2)、航空宇宙セキュリティ論(2)</p> <p>【選択】 触媒化学(2)、安全と防災の化学(2)、微生物学(2)、資源環境分析(2)、同位体と材料の無機化学(2)、原子核物理学(2)、放射線計測(2)、地球惑星科学概論(2)</p>
地球海洋学科	共通	<p>【選択】 安全科学総論(安全科学とリスクマネジメント)(2)、ストレス管理論(2)、実験心理学(2)、カウンセリング(2)、地域環境論(2)、科学と倫理(2)</p>
	地球環境	<p>【選択】 人間情報工学(2)、バイオメカニクス(2)、応用地球物理学(2)、衛星画像処理概論(2)、気候学(2)、応用気象学(2)、航空気象学(2)、天気予報論(2)、安全と防災の化学(2)、資源環境分析(2)</p>
	センシング環境	<p>【選択】 リモートセンシングⅠ(2)、人間情報工学(2)、バイオメカニクス(2)、センシング工学(2)、航空宇宙構造設計(2)、地球惑星科学概論(2)、天気予報論(2)、安全と防災の化学(2)、宇宙環境利用(2)、放射線計測(2)</p>
電気電子工学科	共通	<p>【選択】 安全科学総論(安全科学とリスクマネジメント)(2)、ストレス管理論(2)、実験心理学(2)、カウンセリング(2)、科学と倫理(2)</p>
	電気・電子機能安全	<p>【選択】 制御工学Ⅱ(2)、電気機器(2)、電気エネルギー工学(2)、システム工学(2)</p>
通信工学科	共通	<p>【選択】 通信工学Ⅰ(2)、通信工学Ⅱ(2)、安全科学総論(安全科学とリスクマネジメント)(2)</p>
	情報通信ネットワーク	<p>【選択】 コンピュータ工学(2)、情報理論(2)、光情報通信ネットワーク(2)、通信伝送工学(2)</p>
	伝送計測	<p>【選択】 レーダ工学(2)、電波航法工学(2)、光電波応用計測(2)、通信伝送工学(2)</p>
	情報伝送工学	<p>【選択】 コンピュータ工学(2)、情報理論(2)、光情報通信ネットワーク(2)、通信伝送工学(2)、レーダ工学(2)、電波航法工学(2)、光電波応用計測(2)</p>
情報工学科	情報工学	<p>【選択】 安全科学総論(安全科学とリスクマネジメント)(2)、オペレーションズ・リサーチ概論(2)、情報セキュリティ概論(2)、データベース論(2)、メディア情報処理(2)、コンピュータ・シミュレーション(2)、その他の安全科学プログラム科目</p>
機能材料工学科	機能材料	<p>【選択必修】 安全科学総論(安全科学とリスクマネジメント)(2)、実験心理学(2)、安全と材料(2)</p> <p>【選択】 火薬概論(2)、資源環境分析(2)、放射線の科学(2)、電気エネルギー工学(2)、材料力学(2)、エネルギー材料(2)、環境対応材料(2)、材料プロセス学(2)</p>
機械工学科	共通	<p>【選択必修】 安全科学総論(安全科学とリスクマネジメント)(2)、特別講義Ⅰ(工学と装備開発)(2)</p>
	ビークルデザイン	<p>【必修】 伝熱工学(2)、材料強度(2)、強度設計(2)、熱機関(2)、ビークルダイナミクス(2)</p>
	メカトロデザイン	<p>【必修】 伝熱工学(2)、材料強度(2)、強度設計(2)、システム制御(2)、メカトロニクス(2)</p>
	マシンデザイン	<p>【選択】 伝熱工学(2)、材料強度(2)、強度設計(2)、熱機関(2)、ビークルダイナミクス(2)、システム制御(2)、メカトロニクス(2)</p>
機械システム工学科	機械システム工学	<p>【選択】 安全科学総論(安全科学とリスクマネジメント)(2)、機</p>

			<p>力学Ⅰ(2)、内燃機関(2)、船舶工学A(2)、流体機械(2)、船舶工学B(2)、ガスタービン(2)、艦艇工学特論(2)、艦艇工学概論(2)、特別講義Ⅰ(工学と装備開発)(2)、その他の安全科学プログラム科目</p>	
	航空宇宙工学科	航空宇宙	<p>【選択】 安全科学総論(安全科学とリスクマネジメント)(2)、高速航空概論(2)、航空ジェットエンジン(2)、航空宇宙構造設計(2)、ロケット工学通論(2)、宇宙環境利用(2)、宇宙システム設計(2)、飛行制御システム(2)、飛翔体誘導概論(2)、航空宇宙セキュリティ論(2)</p>	
	建設環境工学科	共通	<p>【選択】 安全科学総論(安全科学とリスクマネジメント)(2)、大規模災害概論(2)、震災工学(2)、振動・耐震工学(2)</p>	
防災・建設		<p>【選択】 鋼構造学(2)、建設施工学(2)、防災構造学(2)、環境衛生工学(2)、交通工学(2)</p>		
災害・環境		<p>【選択】 大規模災害対処計画論(2)、海岸工学(2)、河川工学(2)、基礎工学(2)、環境地盤工学(2)、交通工学(2)</p>		
	人間文化学科	安全社会	<p>【選択必修】地域環境論(2)、ストレス管理論(2)、安全科学総論(安全科学とリスクマネジメント)(2)、安全と防災の化学(2)、火薬概論(2)、バイオセキュリティー概論(2)、震災工学(2)、大規模災害概論(2)、情報セキュリティ概論(2)、海洋環境セキュリティ論(2)、航空宇宙セキュリティ論(2)、放射線の科学(2)</p>	1 6
	公共政策学科・国際関係学科	安全社会	<p>【選択必修】 安全と防災の化学(2)、火薬概論(2)、バイオセキュリティー概論(2)、震災工学(2)、大規模災害概論(2)、情報セキュリティ概論(2)、海洋環境セキュリティ論(2)、航空宇宙セキュリティ論(2)、放射線の科学(2)、安全科学総論(安全科学とリスクマネジメント)(2)、科学と倫理(2)、危機事案研究Ⅰ(2)、危機事案研究Ⅱ(2)、災害組織論(2)、ストレス管理論(2)、情報と意思決定(2)、地域情報学(2)</p>	
生命科学プログラム	応用化学科		<p>【必修】 生命化学Ⅰ(2)、細胞生物学(2)、生命化学Ⅱ(2)、生命システム解析学(2)、遺伝子工学(2)、微生物学(2)</p> <p>【選択必修】 科学と倫理(2)、安全科学総論(安全科学とリスクマネジメント)(2)、ストレス管理論(2)</p> <p>【選択】 バイオセキュリティー概論(2)、同位体と材料の無機化学(2)、資源環境分析(2)、安全と防災の化学(2)、放射線計測(2)、人間情報工学(2)、環境対応材料(2)、生命と情報(2)</p>	2 4
国際交流プログラム	全学科		<p>【選択】(文化・情報系科目) 多文化社会論(2)、異文化交流論(2)、欧米史研究(2)、日本・アジア史研究(2)、漢文学(2)、地域研究A(2)、地域研究B(2)、英語コミュニケーション概論(2)、異文化コミュニケーション概論(2)、地域情報学(2)、インターネットメディアコミュニケーション(2)、情報セキュリティ概論(2)</p> <p>【選択】(語学系科目) 独語特講Ⅰ(2)、独語特講Ⅱ(2)、仏語特講Ⅰ(2)、仏語特講Ⅱ(2)、中国語特講Ⅰ(2)、中国語特講Ⅱ(2)、露語特講Ⅰ(2)、露語特講Ⅱ(2)、朝鮮語特講Ⅰ(2)、朝鮮語特講Ⅱ(2)、アラビア語特講Ⅰ(2)、アラビア語特講Ⅱ(2)、ポルトガル語特講Ⅰ(2)、ポルトガル語特講Ⅱ(2)</p>	1 2

別表第3 (第14条関係)

進級及び卒業に必要な単位数

(人文・社会科学専攻)

区分		教養教育	外国語		体育	専門基礎	専門	防衛学
			英語	独語 仏語 露語 中国語 朝鮮語 アラビア語 ポルトガル語 日本語				
修得単位数								
2学年 進級に 必要な 単位数	35 単位 以上	3以上	6以上		3	18以上		2以上
3学年 進級に 必要な 単位数	75 単位 以上	8以上	12以上		4		22以上	6以上
4学年 進級に 必要な 単位数	114 単位 以上	18以上	12以上		5		42以上	14以上
卒業に 必要な 単位数	152 単位 以上	24以上	12以上	2	6	18以上	66以上	24以上

注意

ア 外国語（英語）

必修（12単位）については、2単位に限り、英語の選択（英語演習）をもって振り替えることができる。

イ 専門基礎

必修（16単位）については、4単位に限り、専門基礎の選択をもって振り替えることができる。

ウ 専門

専門の必修科目（40単位のうち卒業研究を除く）を取得できなかった場合については、科目担当教官と所属する学科長が認めた場合に6単位に限り、学科の指定する選択必修科目をもって振り替えることができる。

エ 必修科目及び選択必修科目については、4単位に限り、選択科目をもって振り替えることができる。

(理工学専攻)

区分		教養教育	外国語		体 育	専 門 基 礎	専 門	防 衛 学
			英 語	独 語 仏語 露語 中国語 朝鮮語 アラビア語 ポルトガル語 日本語				
修得単位数								
2 学年 進級に 必要な 単位数	35 単位 以上	3 以上	6 以上		3	19 以上		2 以上
3 学年 進級に 必要な 単位数	75 単位 以上	8 以上	12 以上		4	30 以上	12 以上	6 以上
4 学年 進級に 必要な 単位数	114 単位 以上	18 以上	12 以上		5		30 以上	14 以上
卒業に 必要な 単位数	152 単位 以上	24 以上	12 以上	2	6	30 以上	54 以上	24 以上

注意

ア 教養教育

「基礎ゼミナール」及び「近現代史」を除く必修（4 単位）については、2 単位に限り、指定する教養教育の選択をもって振り替えることができる。

イ 外国語（英語）

必修（12 単位）については、2 単位に限り、英語の選択（英語演習）をもって振り替えることができる。

ウ 専門基礎

専門基礎の必修の一部の科目については専門基礎の選択をもって4 単位に限り、振り替えることができる。

エ 専門

卒業研究、演習、実習、製図及び実験を除く必修（各学科所定の単位数）を取得できなかった場合については、科目担当教官と所属する学科長が認めた場合に6 単位に限り、学科の指定する科目をもって振り替えることができる。

オ 防衛学

必修科目及び選択必修科目については、4 単位に限り、選択科目をもって振り替えることができる。

別紙様式（第8条関係）

履修科目の変更届（追加・取消し）

年 月 日

教務部長 殿

個有番号	学 年	要 員	教務班	出席番号	氏 名

下記の事由により届出します。

追 加

学 期	曜 日・時 限	科 目 名
事 由		
* 担当教官の 確 認	教育室・学科名	氏 名

取消し

学 期	曜 日・時 限	科 目 名
事 由		
* 担当教官の 確 認	教育室・学科名	氏 名

* 授業開始前は担当教官の確認は必要としない。